

工 事 番 号	部 長	課 長	係 長	検 算 者	設 計 者	
設計年度	令和3年度					
施工月日	令和	年	月	日	<p style="text-align: center;">橋梁補修工事（市道久井町野間線野間橋外1橋）</p> <p>社会資本整備交付金事業</p> <p>三原市久井町土取 外</p> <div style="text-align: right;">   </div>	
施工方法	請 負					
工事期間						
工 事 概 要			起 工 理 由			
橋梁補修工事 N=2橋 断面修復工 0.661m3 ひび割れ注入工 95.50m 表面含浸工 101m2 舗装工 115m2						

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

1 本特記仕様書は、三原市久井町土取外 橋梁補修工事（市道久井町野間線野間橋外1橋）に適用する。

2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・ **土木工事共通仕様書（令和2年8月）広島版**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。

2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。

4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。

5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 施工時期・時間の制限

施工内容

工事全般

時期

全工事期間

時間

調整による

施工方法・理由

工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中、交通誘導員を2（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

- 1 一般道路
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時
工事中・後の処置 随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事中機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

1) 受注者は、橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和2年8月）『1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期, 工事期間, 施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

(ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用

a 積上げ項目

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

b 率で計上する項目

対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお、処分費等が「共通仮設費対象額(P)＋準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合、率計算の対象については、工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第6章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
舗装打換え工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	式	1	レベル4
舗装版破碎	コンクリート舗装版	m2	76	レベル4
橋面防水工	ONEPIECE-GEL PROOF 相当	m2	76	レベル4
表層	改質As 密粒(20)	m2	76	レベル4
区画線工		式	1	レベル2
区画線工		式	1	レベル3
溶融式区画線	記号	m	41	レベル4
溶融式区画線	実線 30cm	m	4	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮継手工		式	1	レベル3
埋設ジョイント補修	ONEPIECE-GEL JOINT工法 相当	m	12.0	レベル4
排水施設工		式	1	レベル3
排水管	100×50	m	4	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	超微粒子セメント系 亜硝酸リチウム40%水溶液混入	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 亜硝酸リチウム混入	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理		m2	52	レベル4
表面含浸工	亜硝酸リチウム系含浸材 + シラン系含浸材	構造物	1	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	25	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
道路付属構造物塗装工		式	1	レベル3
塗装準備工		m	26	レベル4
素地調整	防護柵類	m2	39	レベル4
下塗	フェノール樹脂MI0塗装 下塗 淡彩	m2	39	レベル4
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色	m2	39	レベル4
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色	m2	39	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
殻運搬	コンクリート殻	m3	4	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	4	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場	吊足場	m2	56	レベル4
防護		式	1	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	26	レベル4
直接工事費				
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
契約保証費				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
舗装打換え工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	式	1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2	39	レベル4
基層	再生As 粗粒(20)	m2	39	レベル4
表層	再生As 密粒(20)	m2	39	レベル4
底板コンクリート	ck=18N/mm2	m2	39	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮装置補修工		式	1	レベル3
目地材注工	ポリサルファイド系シール材	m	10.3	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	超微粒子セメント系 亜硝酸リチウム40%水溶液混入	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 亜硝酸リチウム混入	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3

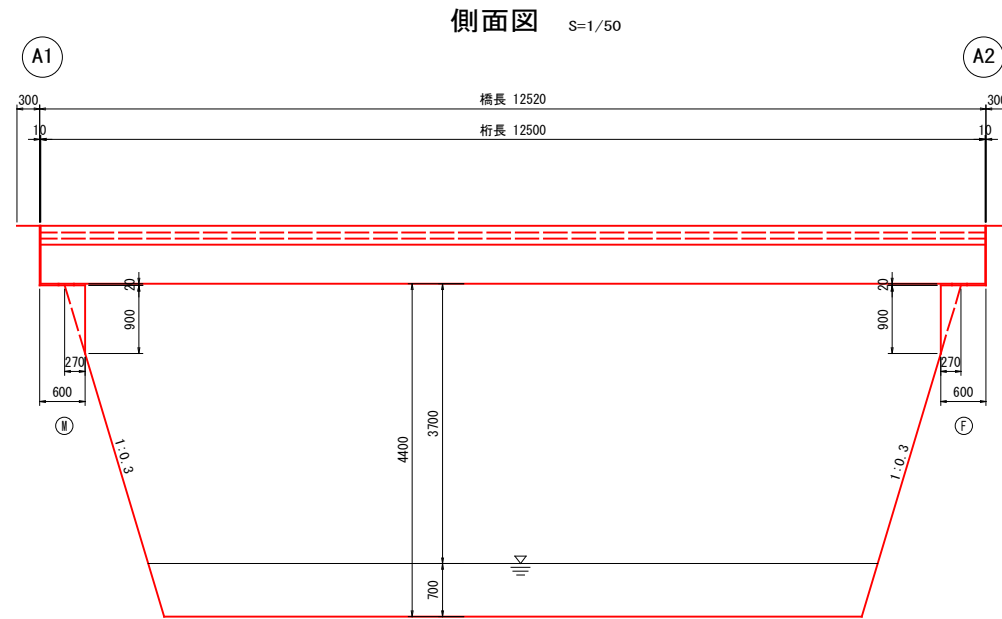
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
下地処理		m2	49	レベル4
表面含浸工	ケイ酸塩系含浸材	構造物	1	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	13	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	0.6	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.6	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	アスファルト殻	m3	6	レベル4
殻処分	アスファルト殻	m3	6	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場	吊足場	m2	39	レベル4
防護		式	1	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3

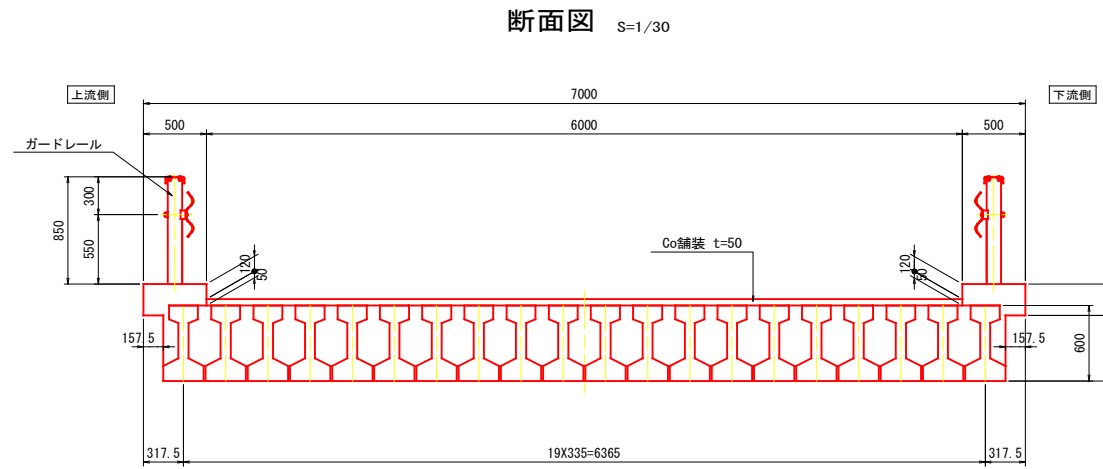
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
交通誘導警備員		人	32	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

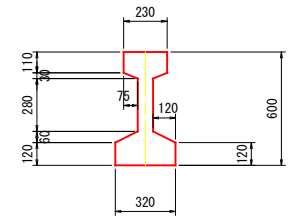
現橋一般図(野間橋)



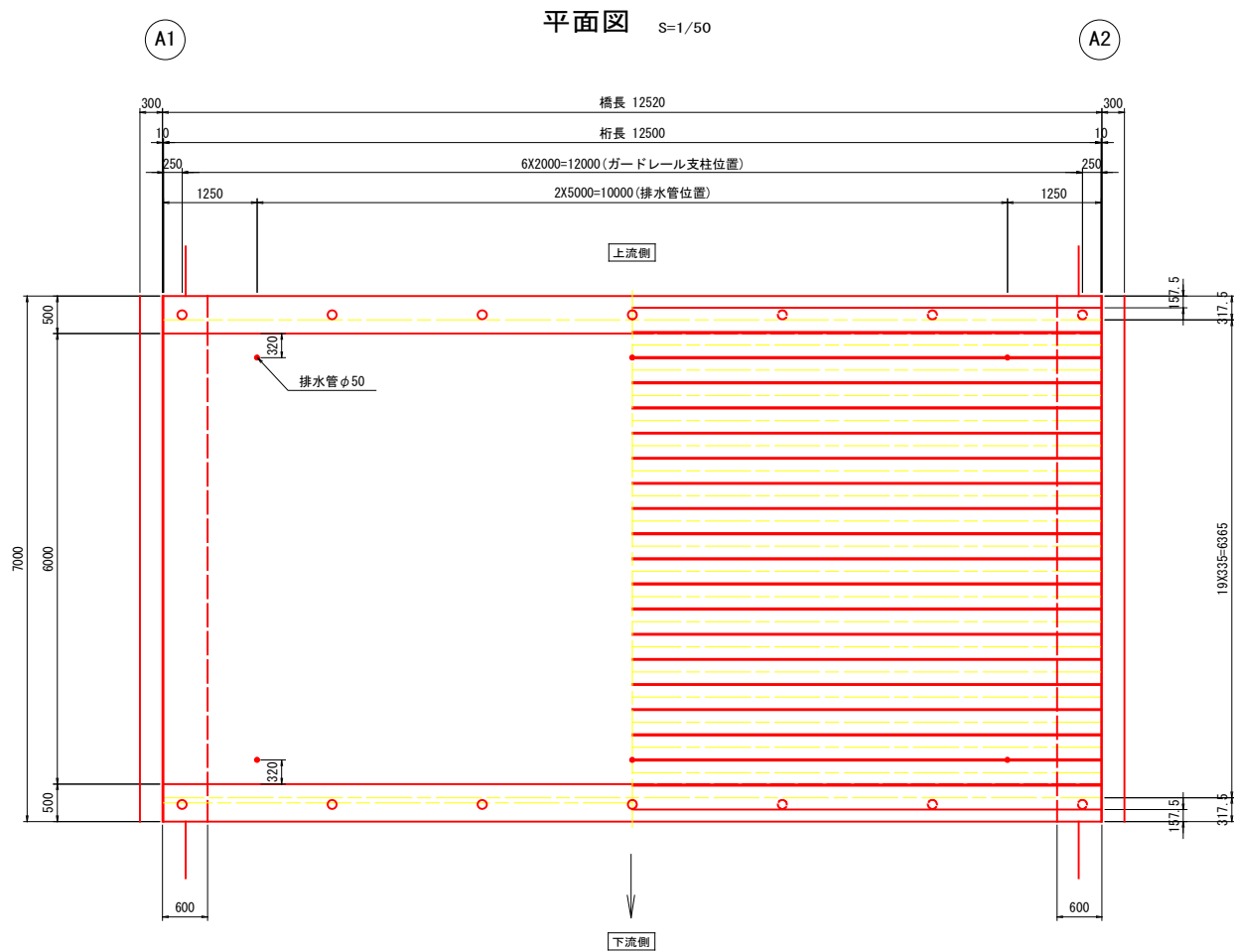
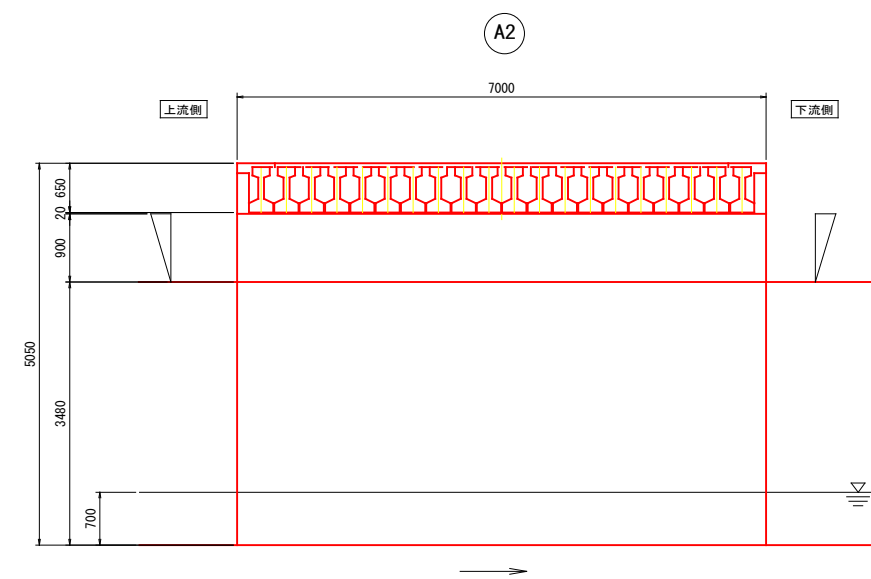
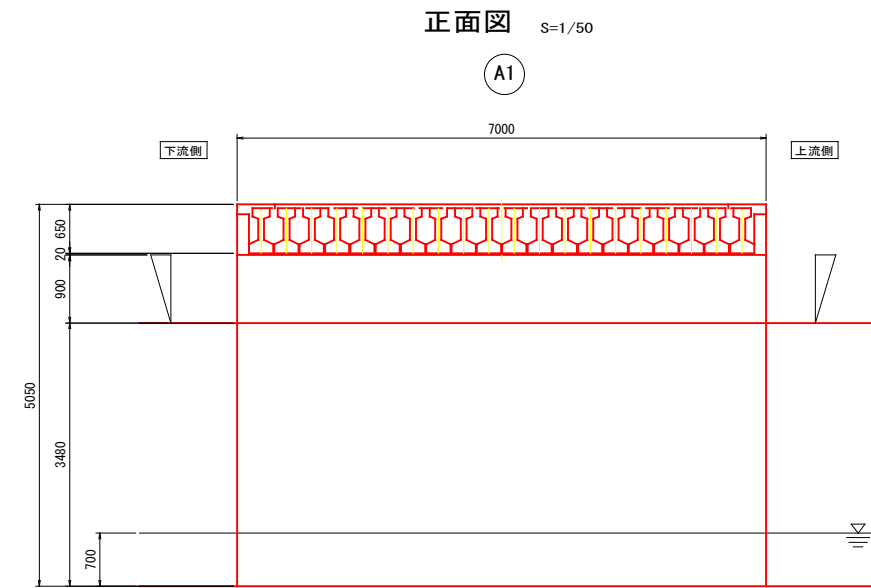
注、支承条件は不明なため道路縦断の低い側を移動側(Mov)と想定し記載する。
(伸縮装置選定においては、対応可能なタイプを選定すること)



主桁推定断面図 S=1/20



注記
桁長・推定桁高・道路幅員・架設年度・PC鋼材配置(欠損部)等の情報を整理し主桁形状を推察した。
スラブ橋用プレストレストコンクリート橋ゲタ (JIS A 5313-59) 一等橋 (T-20) S113 (推定)



設計条件(推定)

橋格	車道橋
所在地	三原市久井町土取
形式	プレテンション方式PC中埋合成床版
構造形式	PC中埋合成床版+重力式橋台
径間数	1径間
橋長	12.520m
桁長	12.500m
幅員	有効幅員 6.000m
斜角	90°
平面線形	R=∞
舗装	コンクリート舗装 50mm
設計荷重	床版 T-20
添加物	-
鋼桁材質	PC:PC鋼線φ2.9 鉄筋:SS41 (想定)
下部工基礎	直接基礎(想定)
適用指針	道路橋示方書 IV下部構造編 (S55年) プレストレストコンクリート道路橋示方書 (S43年)
架設年次	1985年

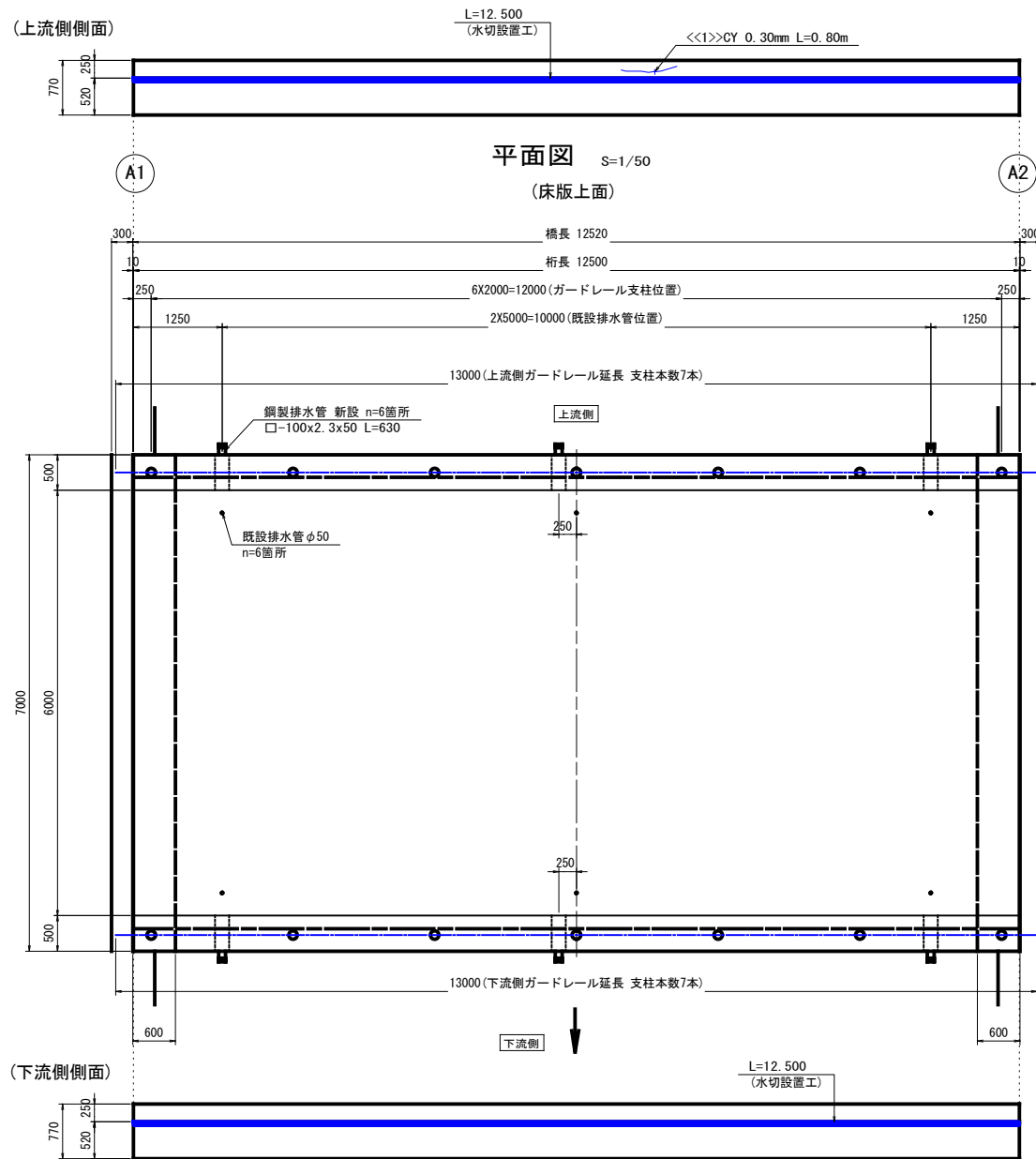
注記

1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	現橋一般図(野間橋)		
縮尺	図示	図面番号	N 1/4
橋梁名	市道久井町野間線 野間橋		
	三原市		

補修図(野間橋) (その1)

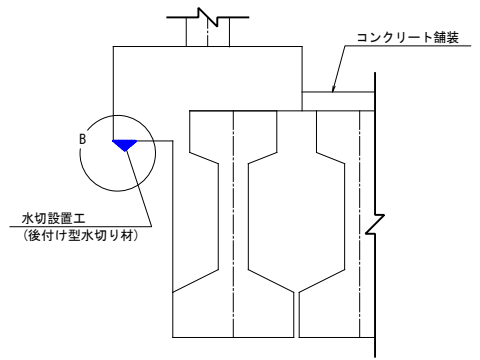
上部工
(断面修復工・水切設置工・
塗装塗替工・排水管取替工)



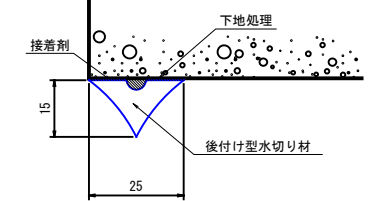
凡例

CY	遊離石灰を伴うひび割れ：ひび割れ補修工にて補修を示す。
H	部材の剥離：断面修復工にて補修を示す。
HT	部材の剥離・鉄筋露出：断面修復工にて補修を示す。

水切設置工 A-A部詳細図(参考)



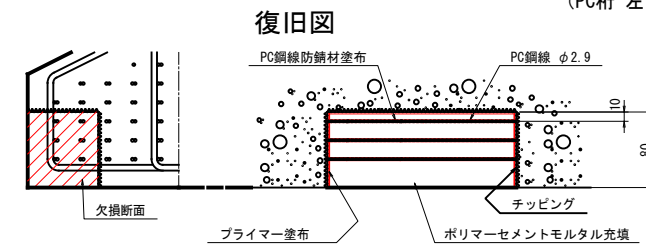
B部詳細図(参考)



- 注) 1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてフロアーも併用すること。
2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。
3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。

塗装塗替工詳細図(参考)

断面修復工詳細図(参考)
(PC桁 左官工法)

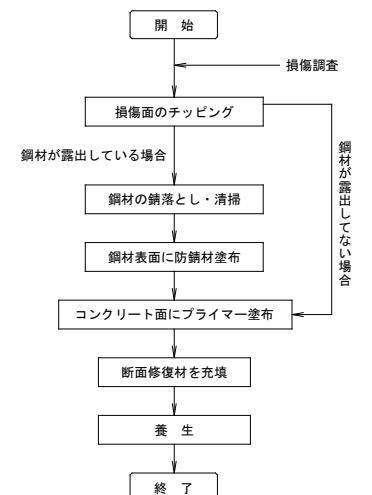


- 注記)
1. 桁長・推定桁高・道路幅員・架設年度・PC鋼材配置(欠損部)等の情報を整理し主桁形状を推察した。スラブ橋用プレストレストコンクリート橋ゲタ(JIS A 5313-59)一等橋(T-20) S113(推定)
2. PC桁は全断面有効断面なため、欠損断面を最小となるように修復する。また、発錆はワイヤーブラシ等で丁寧に除去すること。(80mm: 想定値)

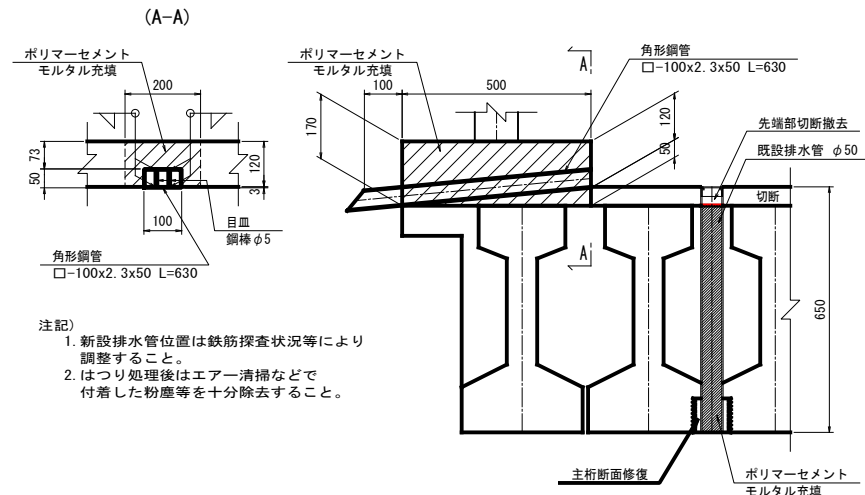
材料表

工種	仕様
鋼材防錆処理工	亜硝酸リチウム
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材(亜硝酸リチウム混入)

施工フロー

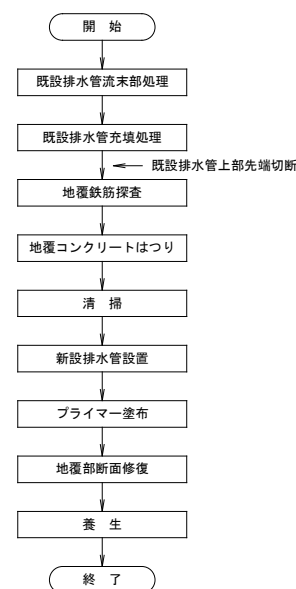


排水管取替工詳細図(参考)
(n=6箇所)

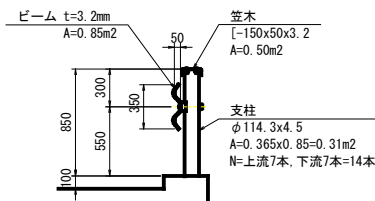


- 注記)
1. 新設排水管位置は鉄筋探査状況等により調整すること。
2. はつり処理後はエアークリーンなどで付着した粉塵等を十分除去すること。

施工フロー



ガードレール詳細図 S=1/30



ガードレール数量

	上流側	下流側	計
笠木	13.00m	13.00m	26.00m
梁	13.00m	13.00m	26.00m
支柱	7本	7本	14本

注記)

- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
- 施工時には、天候に十分注意すること。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
- はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
- はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
- 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。

- はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリートと修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
- コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
- はつり後、ひび割れ損傷が深層部にて確認される場合は、ひびわれ注入工と併用し施工すること。
- 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレンスなどを除去すること。
- 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
- 必要塗布量を満たすように塗布すること。

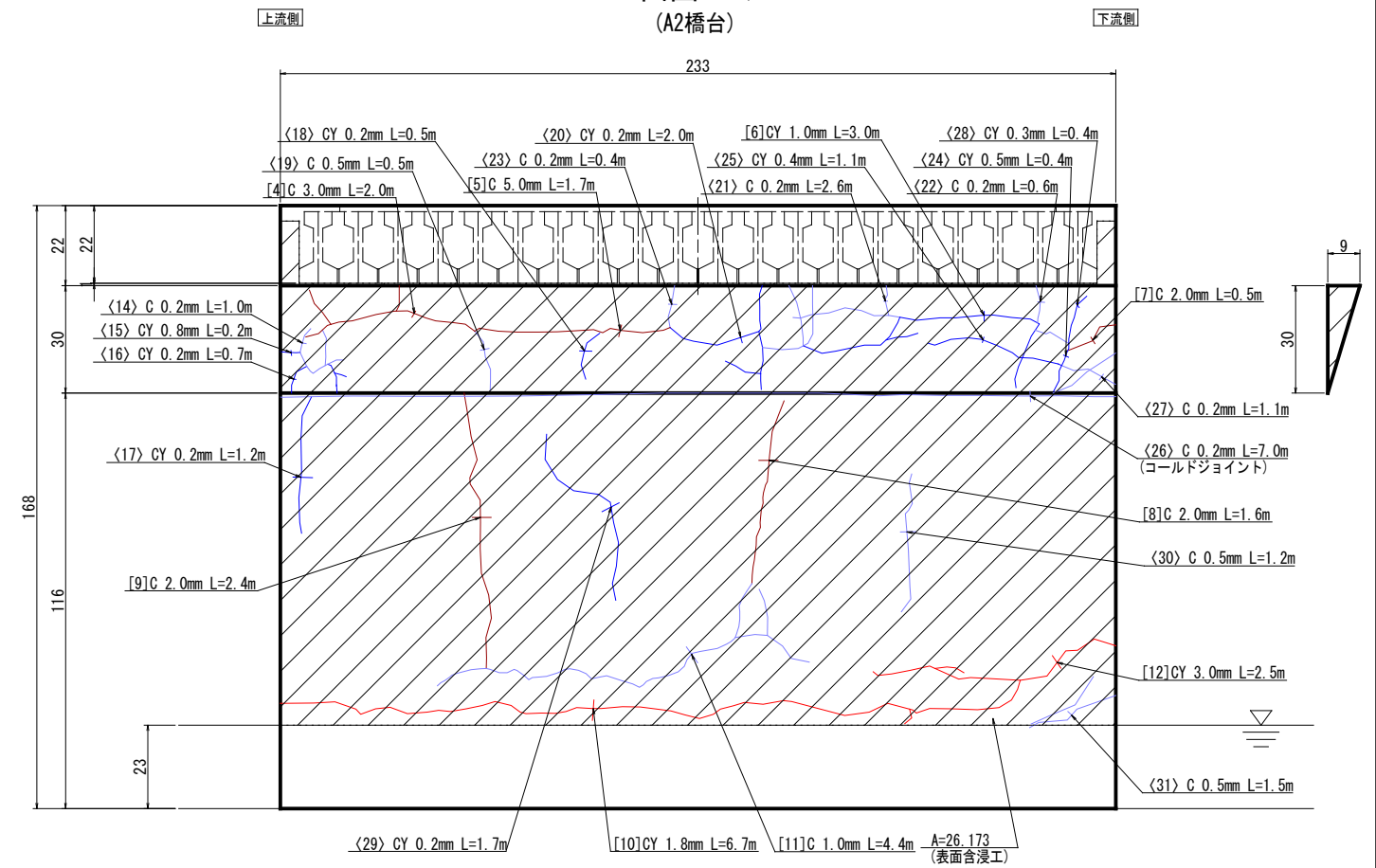
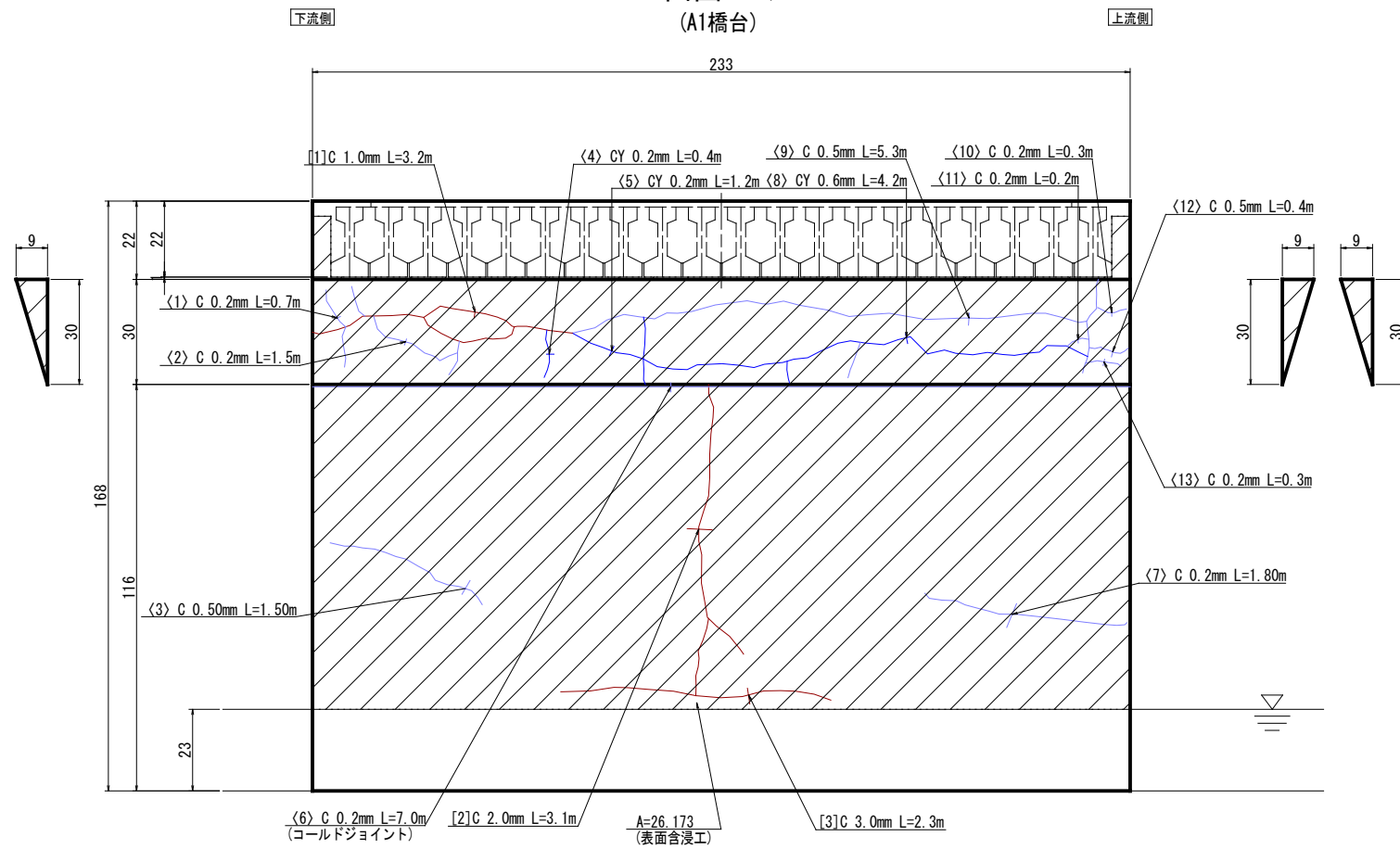
工事名	橋梁補修工事(市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修図(野間橋)(その1)		
縮尺	図示	図面番号	N 2/4
橋梁名	市道久井町野間線 野間橋		
三原市			

補修図(野間橋) (その2)

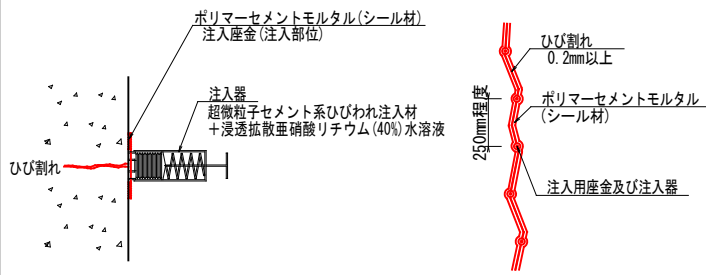
下部工 (ひびわれ補修工・表面被覆工)

正面図 S=1/30
(A1橋台)

正面図 S=1/30
(A2橋台)



ひびわれ補修工詳細図(参考)
(ひびわれ幅 0.2mm以上)

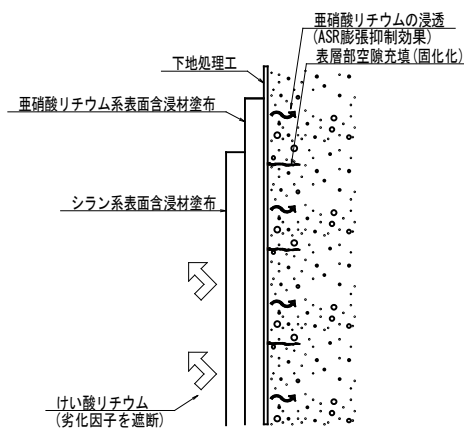


注記
1. シール範囲は施工前に下地処理を行うこと。
2. 下地処理後はエアークリーンなどで付着した粉塵等を十分除去すること。

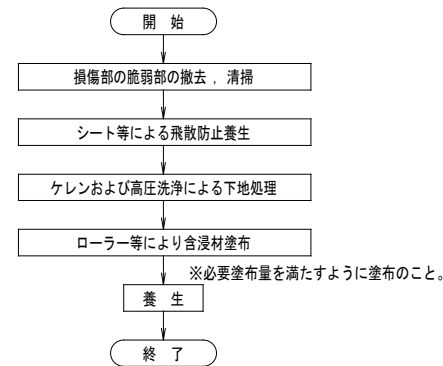
工種	仕様
ひびわれ注入工	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液

表面被覆工詳細図(参考)

(表面含浸材塗布)



施工フロー



凡例

0.2~1.0mm未満 C	ひび割れ	ひび割れ補修工にて補修を示す。
1.0mm以上 C	ひび割れ	ひび割れ補修工にて補修を示す。
0.2~1.0mm未満 CY	遊離石灰を伴うひび割れ	ひび割れ補修工にて補修を示す。
1.0mm以上 CY	遊離石灰を伴うひび割れ	ひび割れ補修工にて補修を示す。
斜線	表面含浸工塗布部分	表面含浸工塗布部分を示す。

補修工法

工種	細別	規格・材料
断面修復工	断面修復工(PC部)	ポリマーセメント系モルタル材 (亜硝酸リチウム混入)
	ひび割れ注入工 (0.2~0.1mm未満)	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液
	ひび割れ注入工 (1.0~2.0mm未満)	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液
ひび割れ補修工	ひび割れ注入工 (2.0~5.0mm未満)	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液
	ひび割れ注入工 (5.0mm以上)	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液
表面被覆工	下地処理	高圧洗浄
	表面被覆工	1層: 亜硝酸リチウム系表面含浸材 2層: シラン系表面含浸材
水切設置工	下地処理	サンダーケレン
	水切設置工	後付け型水切り材
塗装塗替工	下地処理	素地調整
	塗装塗替工	防護補修
既設排水管理設置工	排水管孔内埋設工	ポリマーセメント系モルタル材
新設排水管理設置工	はつり工	左官作業
	排水管	角形鋼管 (□-100x2.3x50)
	断面修復材料	ポリマーセメント系モルタル材

注記

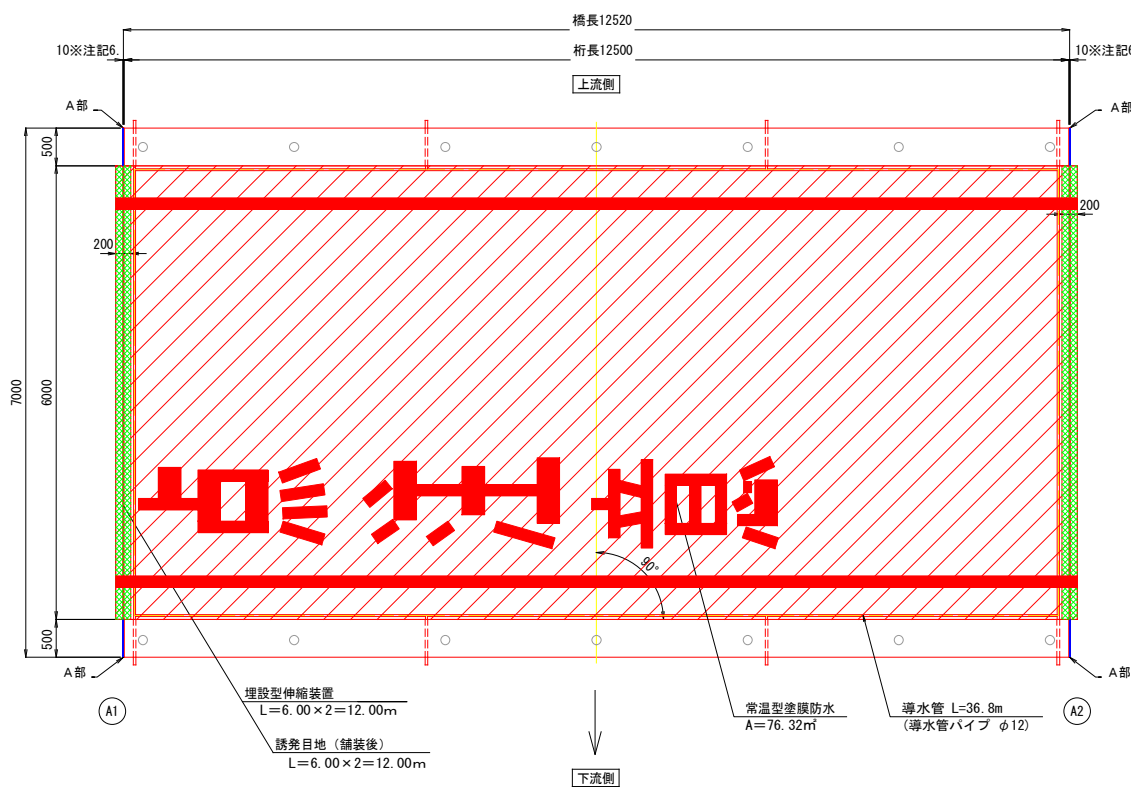
- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
- 施工時には、天候に十分注意をすること。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
- 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
- 必要塗布量を満たすように塗布すること。

工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修図(野間橋) (その2)		
縮尺	図示	図面番号	N 3/4
橋梁名	市道久井町野間線 野間橋		
	三原市		

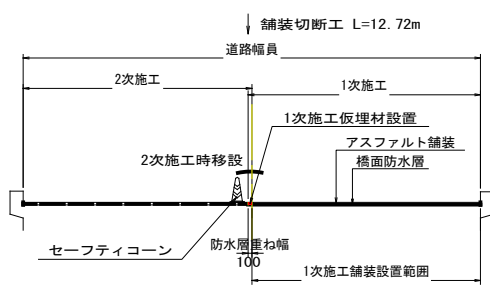
補修図(野間橋)(その3)

路面
(伸縮装置及び床版防水の一体化工法)

平面図



規制要領図(参考)

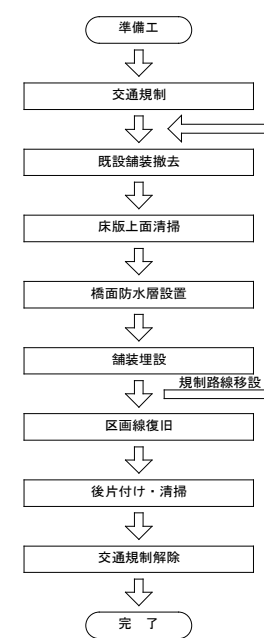


区画線復旧数量

文字(白色)	数量
15cm	15.9 m
30cm	4.2 m

白線(白色)	数量
15cm	25.5 m

規制施工フロー



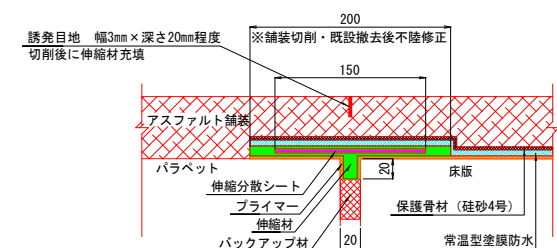
伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図(参考)

伸縮装置材料表 <補修>

名称	材質	単位	数量	備考
伸縮材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	α25%含む
伸縮材(誘発目地)	同 上	kg	0.06	α20%含む
プライマー	シリコーン系化合物	kg	0.045	α20%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	α10%含む
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	m	0.55	α10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。

伸縮装置断面図(参考)



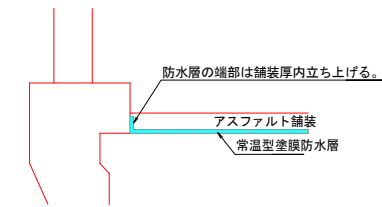
- ※注記
- 伸縮装置設置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
 - 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと
 - 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
 - 伸縮剤との一体化のため、橋面防水工の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
 - コンクリート床版面とパラベト天端の高さは同レベルにすること
 - 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲：10～20mm
- | | | |
|-------|---------------------------------|-------|
| 一体化 | 遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること | |
| 伸縮追随性 | ±4mm繰り返して剥離・破損がないこと | 6000回 |
| | ±10mm繰り返して剥離・破損がないこと | 15回 |

常温型塗膜防水材料表<補修>

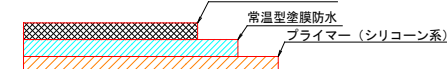
名称	材質	単位	数量	備考
常温型塗膜防水材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	α25%含む
プライマー	シリコーン系化合物	kg	0.18	α20%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.77	α10%含む

※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。

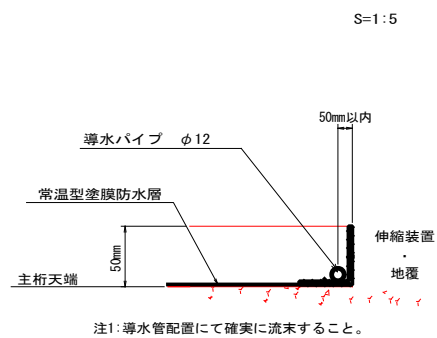
防水層詳細(参考)



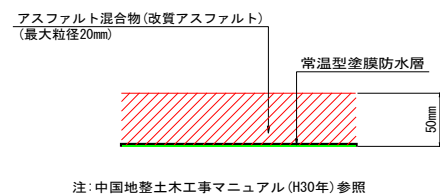
防水層構成図



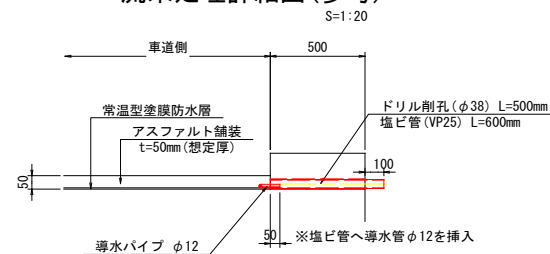
橋面防水工端部処理詳細図(参考)



舗装構成詳細図



流末処理詳細図(参考)



流末処理数量表

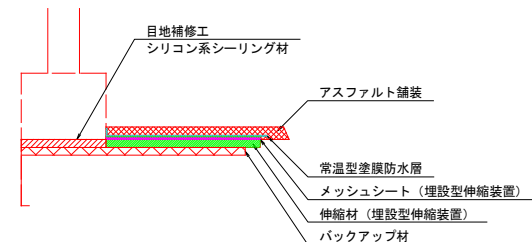
細 別	規 格	数 量	摘 要
ドリル削孔	φ38	8 孔	L=500mm x 8
塩ビ管	VP25	4.8 m	
エポキシ樹脂注入		0.001 m ³	

- ※注記
- 流末処理の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと。
 - コンクリートを削孔する際には鉄筋探査を行い、既設鉄筋に干渉しないよう施工すること。

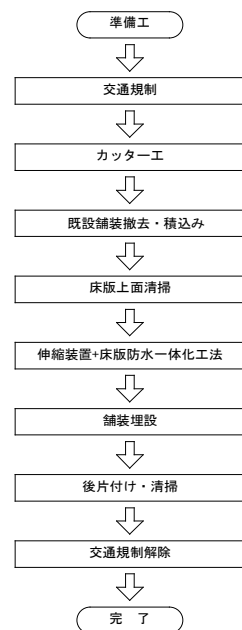
地覆目地工

※地覆目地工は当工法に含まない

A部断面図：4ヶ所



伸縮装置+床版防水 施工フロー



注記)

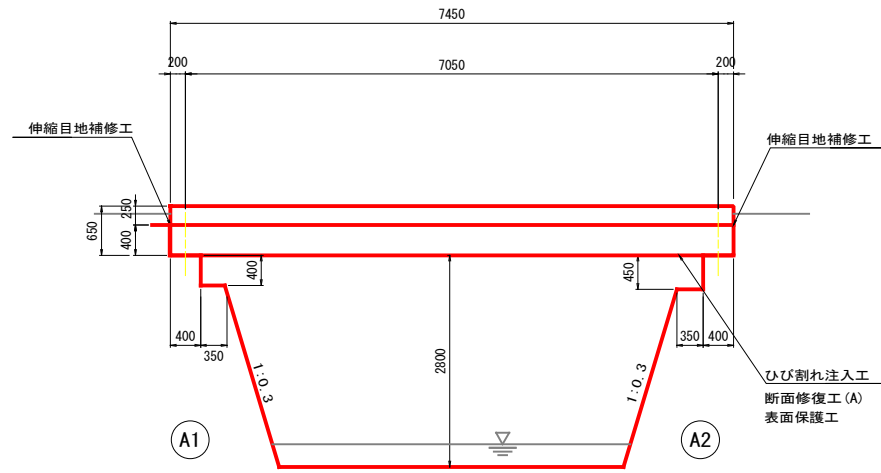
- 本図面は、現地計測及び既存資料をもとに作成した図面である。
- 施工前には周辺住民に説明を行いご理解ご協力を得ること。
- 施工時には河川の水位、天候に十分注意をすること。
- 補修工事に当り、各工程とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。
- 補修工法および補修範囲は、調査結果により決定しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
- 現橋舗装撤去時は床版を損なわないよう施工すること。
- 舗装撤去後、若くし鋼床版上面が損傷している場合は別途対策を講ずること。(要発注者協議)
- 導水管の継手重ね幅は、5cm以上とする。
- 流末部に確実に流水されるよう、現地に調整コンクリート勾配を調整し配置すること。
- 地覆削孔時に鉄筋を切断することがなきよう鉄筋探査を施工し削孔すること。

工事名	橋梁補修工事(市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修図(野間橋)(その3)		
縮尺	図示	図面番号	N 4/4
橋梁名	市道久井町野間線 野間橋		
三 原 市			

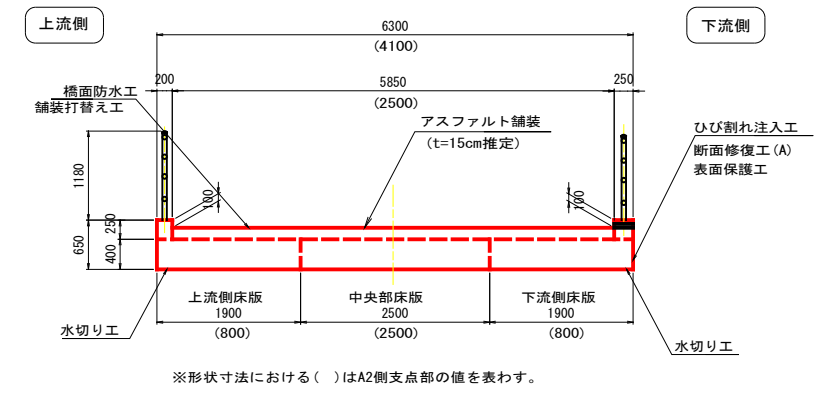
工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修一般図		
縮尺	S=1:50	図面番号	S 1/4
橋梁名	市道久井町鬼岩線 砂田2号橋		
三 原 市			

補修一般図

側面図 S=1:50

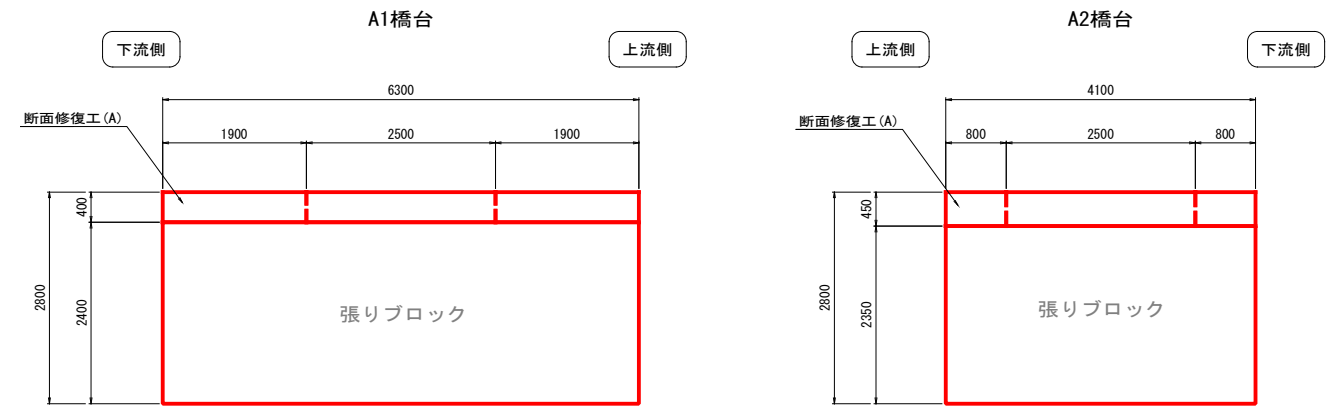
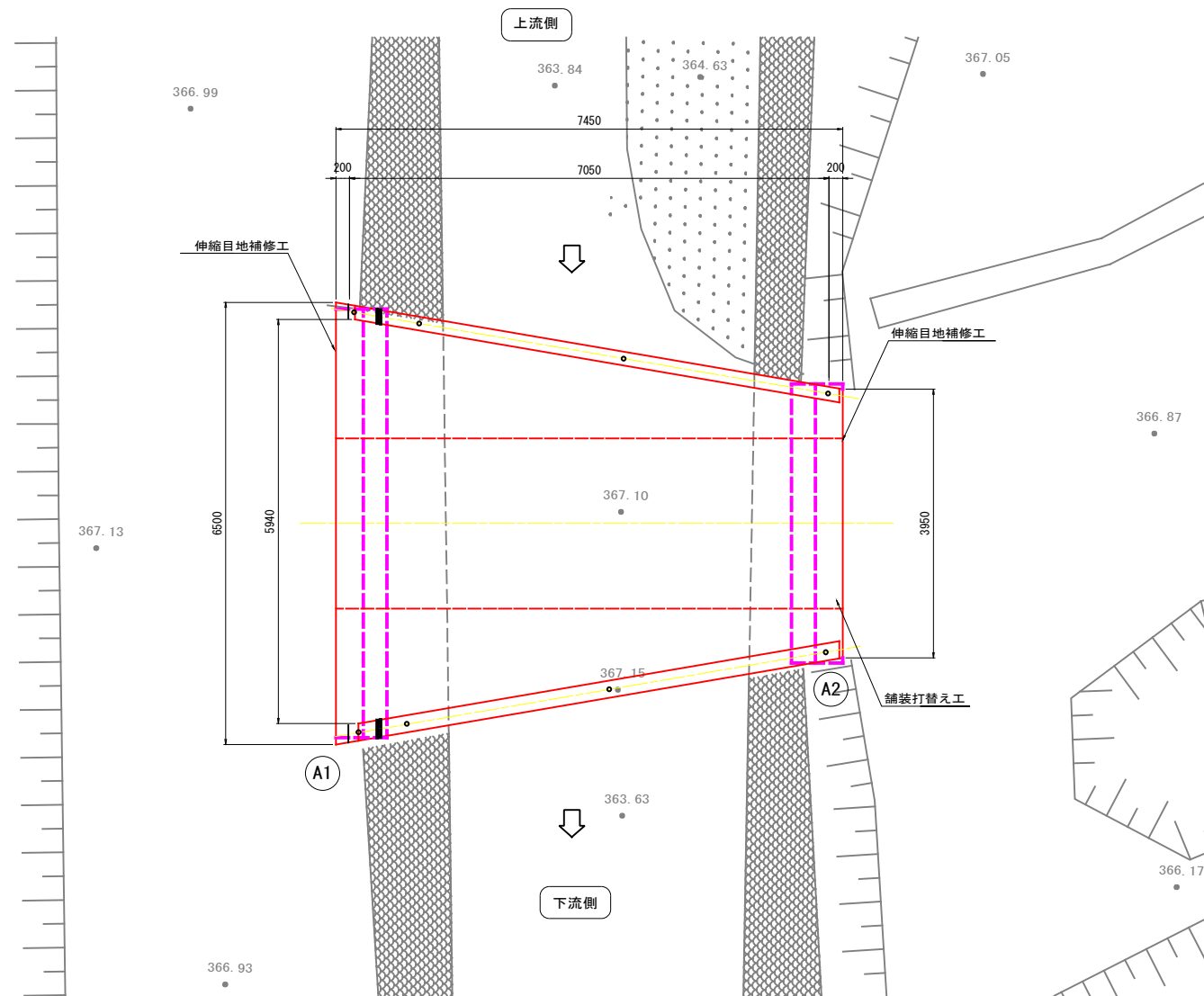


断面図 (A1側支点部) S=1:50



平面図 S=1:50

下部工正面図 S=1:50



橋梁補修一覧表

工 程	内 容	対象部材
ひびわれ注入工	ひびわれ内に注入器具を使用し低圧にて微粒子ポリマーセメントを注入する。	床版・地覆
断面修復工 (A)	鉄筋露出部を防錆処理後、ポリマーセメントモルタルで修復を行う。	床版・A1, A2橋台
水切り工	床版上下流端部に、軟質PVCを施工する。	床版
表面保護工	コンクリートの表面を洗浄後、ケイ酸塩系含浸材を塗布する。	床版 (下面・側面)
伸縮目地補修工	橋台への漏水対策として、遊間部に常温目地を施工する。	伸縮装置 (A1, A2橋台)
舗装打替え工	舗装の劣化対策として表層を打ち替える。伸縮部は下部工漏水予防対策として舗装を打ち替える。	舗装

注記
 ※1 本図は現地簡易計測結果をもとに作成したものである。
 ※2 施工前に本図をもとに詳細計測を行い、補修材料の仕様・数量等を確定し施工すること。

設 計 条 件	単 位	不明	
橋 格		不明	
橋 梁 形 式	上部工	単純RC床版橋	
		A1橋台	重力式橋台 護岸橋台
	下部工	A2橋台	重力式橋台 護岸橋台
		基礎	直接基礎
橋 長	m	7.45	
桁 長	m	7.45	
支 間 長	m	7.05 ※遊間は視認不可	
有 効 幅 員	m	5.94	
斜 角	度	90°	
設計水平震度	kh	不明	
使 用 材 料	上部工	σ _{ck} =21N/mm ² (※)	
設計基準強度	下部工	σ _{ck} =18N/mm ² (※)	
竣工年/ (適用示方書)	竣工年	1960年/ (不明)	

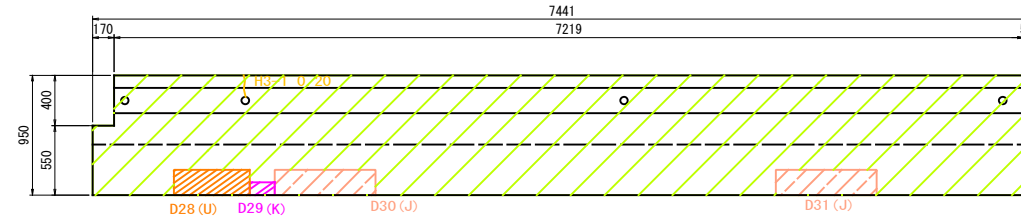
※使用材料、強度は推定。

工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修図(1)		
縮尺	S=1:50	図面番号	S 2/4
橋梁名	市道久井町鬼岩線 砂田2号橋		
	三原市		

補修図(1) S=1:30

上部工(桁下)

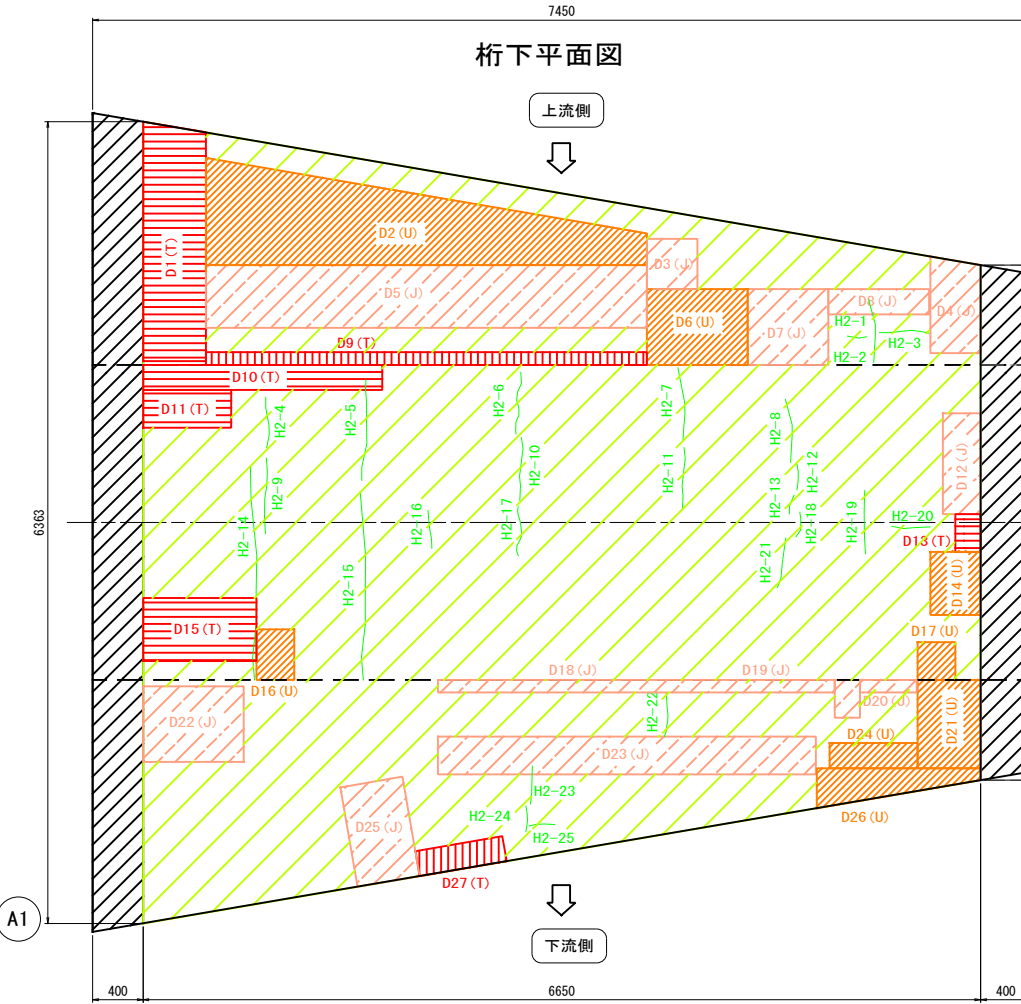
左側地覆展開図



断面修復工(A)数量表(上部工)深さ0.05m

測点	寸法(m)	面積(m2)	測点	寸法(m)	面積(m2)
D1(T)	0.50 × 1.90	0.95	D17(U)	0.30 × 0.30	0.09
D2(U)	0.55 × 3.50	1.93	D18(J)	0.10 × 3.15	0.32
D3(J)	0.40 × 0.40	0.16	D19(J)	0.30 × 0.20	0.06
D4(J)	0.40 × 0.70	0.28	D20(J)	0.10 × 0.45	0.05
D5(J)	0.50 × 3.50	1.75	D21(U)	0.70 × 0.50	0.35
D6(U)	0.60 × 0.80	0.48	D22(J)	0.80 × 0.60	0.48
D7(J)	0.60 × 0.60	0.36	D23(J)	3.00 × 0.30	0.90
D8(J)	0.20 × 0.80	0.16	D24(U)	0.70 × 0.20	0.14
D9(T)	0.10 × 3.50	0.35	D25(J)	0.80 × 0.50	0.40
D10(T)	1.90 × 0.20	0.38	D26(U)	1.70 × 0.20	0.34
D11(T)	0.70 × 0.30	0.21	D27(T)	0.70 × 0.20	0.14
D12(J)	0.80 × 0.30	0.24	D28(U)	0.20 × 0.60	0.12
D13(T)	0.30 × 0.20	0.06	D29(K)	0.20 × 0.10	0.02
D14(U)	0.50 × 0.40	0.20	D30(J)	0.20 × 0.80	0.16
D15(T)	0.50 × 0.90	0.45	D31(J)	0.20 × 0.80	0.16
D16(U)	0.40 × 0.30	0.12	合計		11.81

桁下平面図



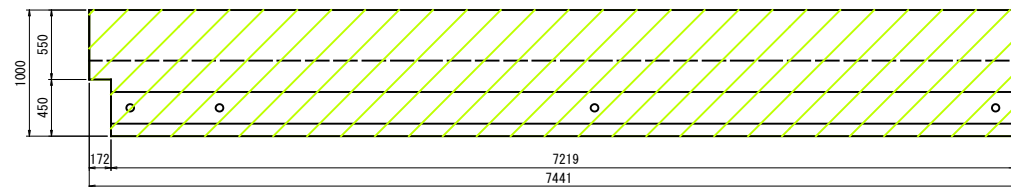
ひびわれ注入工数量表
(ひびわれ幅0.2~0.5mm未満)

測点	寸法(m)	
	L(m)	
H2-1	0.50	
H2-2	0.15	
H2-3	0.40	
H2-4	0.40	
H2-5	0.80	
H2-6	0.50	
H2-7	0.60	
H2-8	0.50	
H2-9	0.60	
H2-10	0.50	
H2-11	0.50	
H2-12	0.20	
H2-13	0.15	
H2-14	1.70	
H2-15	1.50	
H2-16	0.30	
H2-17	0.40	
H2-18	0.20	
H2-19	0.50	
H2-20	0.30	
H2-21	0.40	
H2-22	0.40	
H2-23	0.30	
H2-24	0.20	
H2-25	0.20	
合計	12.2	

ひびわれ注入工数量表
(ひびわれ幅0.5~1.0mm未満)

測点	寸法(m)	
	L(m)	
H3-1	0.20	

右側地覆展開図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
豆板 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(B)
コンクリート表面劣化部		表面保護工

注記)
1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事

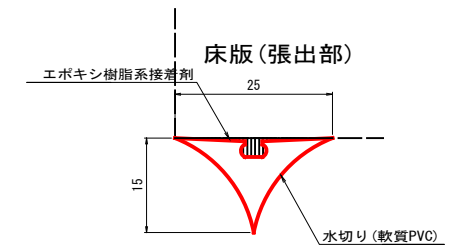
目地部

目地部

A2

A1

水切り詳細図(参考)



工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修図(2)		
縮尺	S=1:50	図面番号	S 3/4
橋梁名	市道久井町鬼岩線 砂田2号橋		
	三原市		

補修図(2) S=1:30

下部工

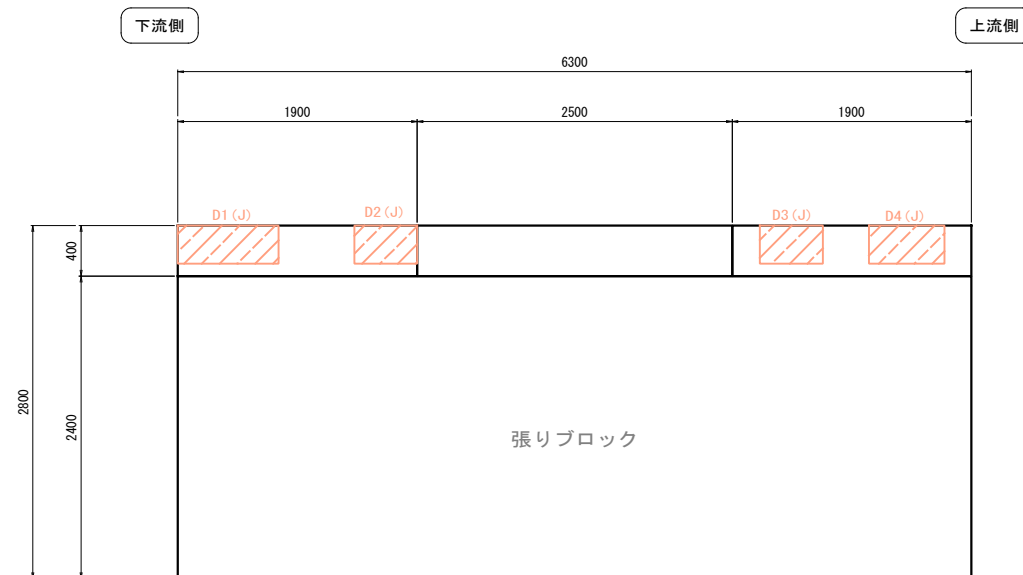
補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
豆板 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(B)
コンクリート表面劣化部		表面保護工

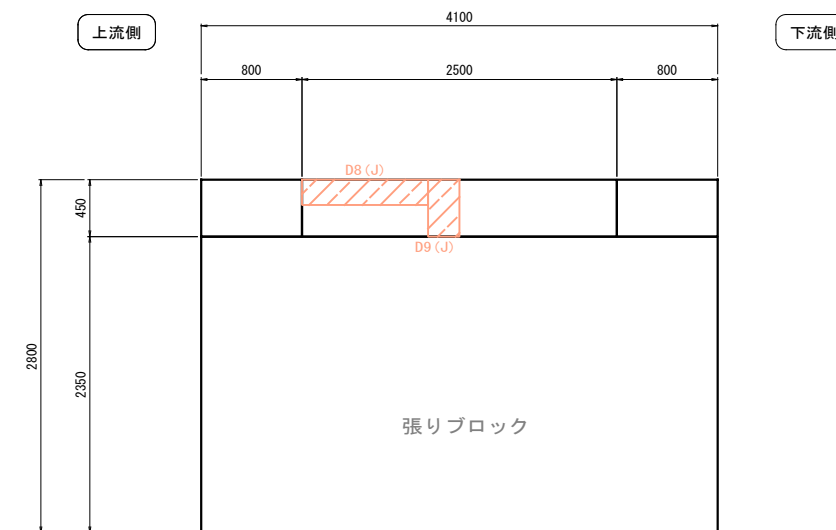
注記)

1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事

A1橋台正面図



A2橋台正面図



断面修復工(A)数量表(上部工)深さ0.05m

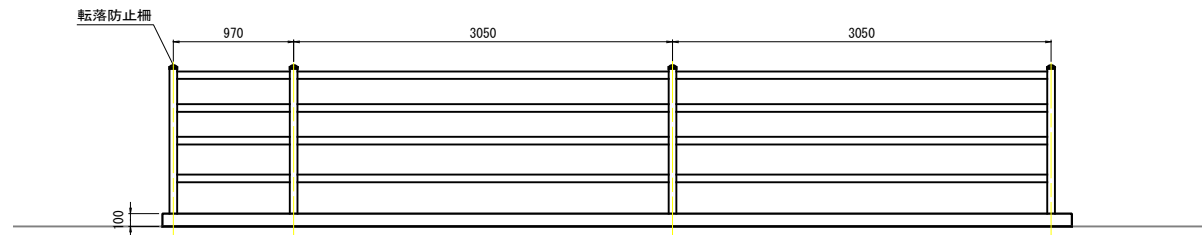
測点	寸法(m)	面積(m ²)
D1(J)	0.80×0.30	0.24
D2(J)	0.50×0.30	0.15
D3(J)	0.50×0.30	0.15
D4(J)	0.60×0.30	0.18
D5(J)	1.00×0.20	0.20
D6(J)	0.25×0.45	0.11
合計		1.03

工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修図(3)		
縮尺	S=1:50	図面番号	S 4/4
橋梁名	市道久井町鬼岩線 砂田2号橋		
三 原 市			

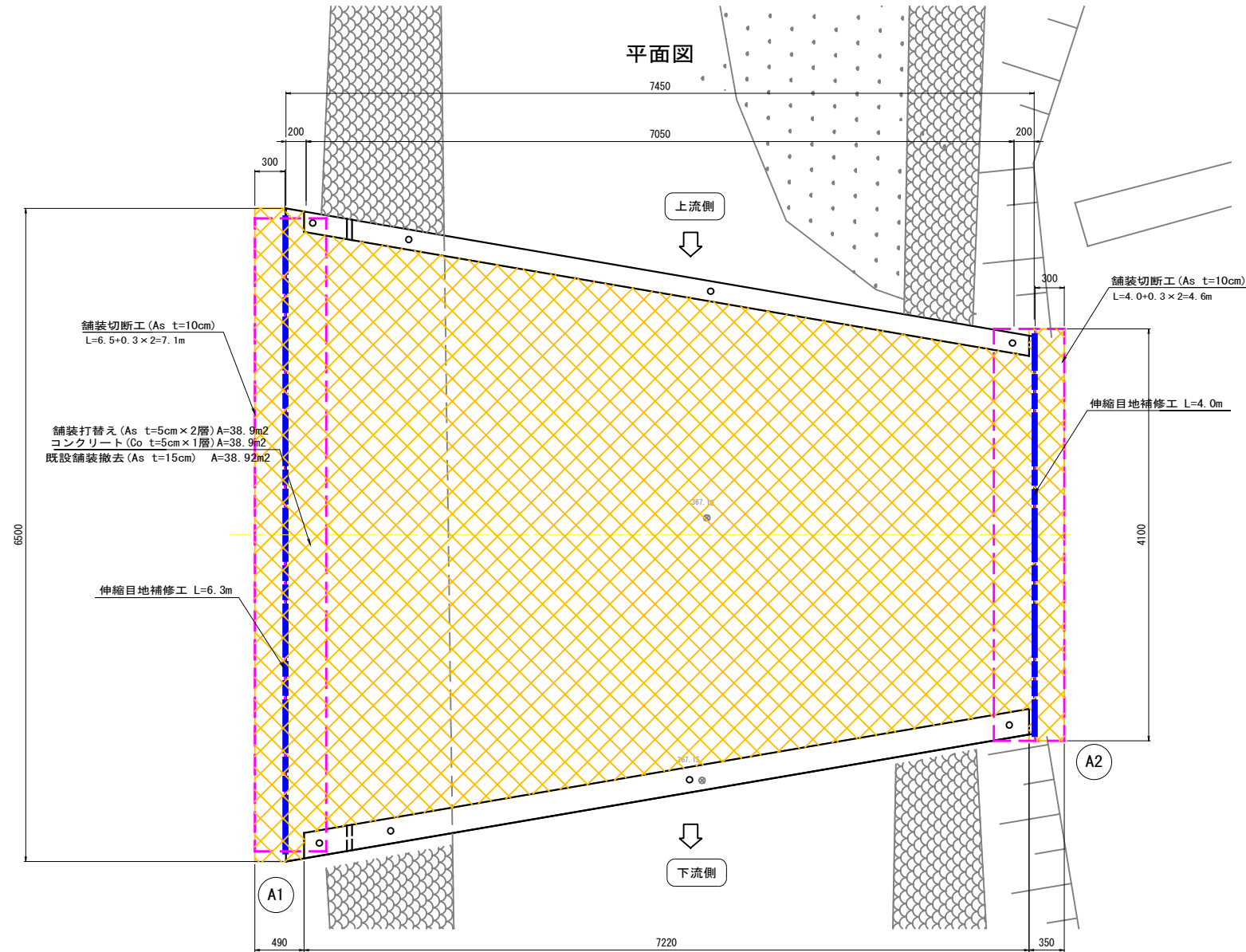
補修図(3) S=1:30

(路面)

左側高欄側面図



平面図



舗装切断工 (As t=10cm)
L=6.5+0.3×2=7.1m

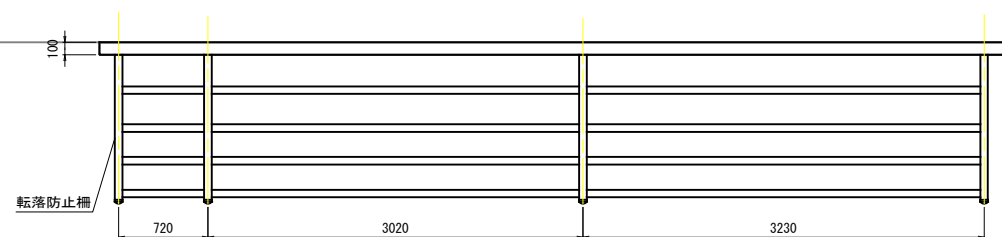
舗装打替え (As t=5cm×2層) A=38.9m²
コンクリート (Co t=5cm×1層) A=38.9m²
既設舗装撤去 (As t=15cm) A=38.92m²

伸縮目地補修工 L=6.3m

舗装切断工 (As t=10cm)
L=4.0+0.3×2=4.6m

伸縮目地補修工 L=4.0m

右側高欄側面図



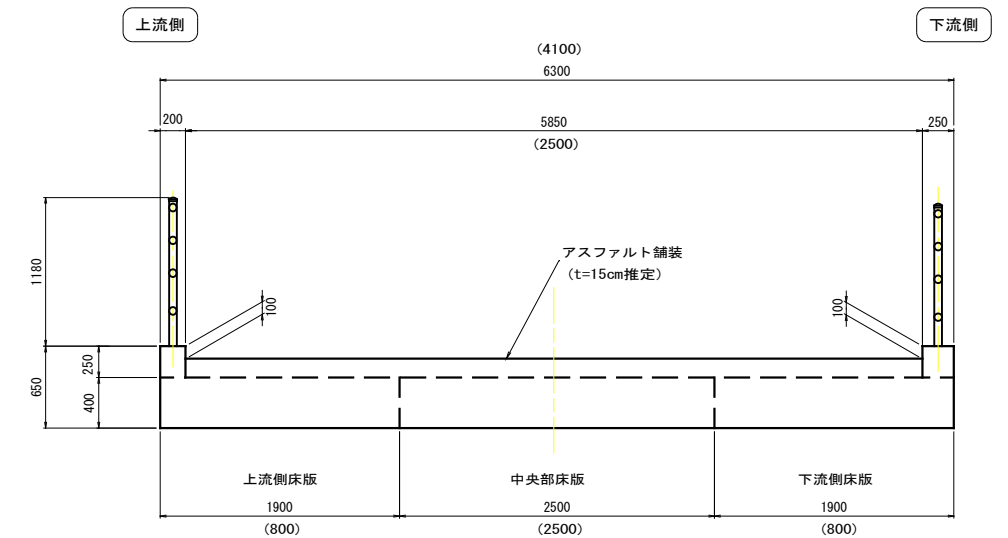
補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
アスファルト舗装の劣化・損傷	[Yellow cross-hatch pattern]	舗装打替え工

注記)

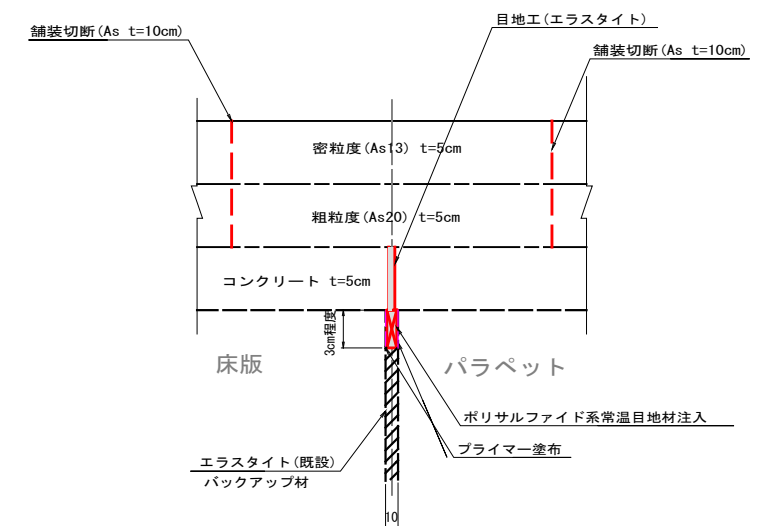
1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事

断面図(A1側支点部)



※形状寸法における()はA2側支点部の値を表わす。

伸縮目地補修工詳細図(参考) S=1:3



参 考 资 料

— 桥梁补修工事（市道久井町野间线野间桥外 1 桥） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 68 三原市(久井) 00-03.07.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	1	式			Y1G03040201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	13	m			SPK20040308 00
舗装版破碎 コンクリート舗装版	13	m			単第0 -0001 表 Y1G03040202 レベル4
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	76	m2			SPK20040307 00
橋面防水工 ONEPIECE-GEL PROOF 相当	76	m2			単第0 -0002 表 Y4999 レベル4
	76	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋面防水工 アスファルト系常温塗膜防水	76	m2			V0205 00 単第0 -0003 表
流末処理工 排水用導水管	1	式			V0300 00 単第0 -0005 表
表層 改質As 密粒(20)	76	m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	76	m2			SPK20040241 00 単第0 -0008 表
区画線工	1	式			Y1G0309 レベル2
区画線工	1	式			Y1G030901 レベル3
溶融式区画線 記号	41	m			Y1G03090101 レベル4
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	41	m			SDT00001 00 単第0 -0009 表
溶融式区画線 実線 30cm	4	m			Y1G03090101 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) 実線_30cm	4	m			SDT00001 00 単第0 -0010 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
埋設ジョイント補修 ONEPIECE-GEL JOINT工法 相当	12.0	m			Y1G03210102 レベル4
伸縮装置取替工	12.0	m			V0105 00 単第0 -0011 表
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
排水管 100×50	4	m			Y1G03210302 レベル4
鉄筋探査工 下向き	2	m2			V0010 00 単第0 -0016 表
とりこわし	0.1	m3			SPK20040335 00 単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁_排水管設置 鋼管	4	m			SPK20040413 00 単第0 -0018 表
角型鋼管 -100×2.3×50 L=630	4	本			W0001
断面修復及び埋設材 ポリマーセメント系モルタル 亜硝酸リチウム混入	1	式			V0006 00 単第0 -0019 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 超微粒子セメント系 亜硝酸リチウム40%水溶液混入	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長83.1m	1	構造物			V1020037 00 単第0 -0020 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 亜硝酸リチウム混入	1	構造物			Y1G03240501 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			V1020039 00 単第0 -0022 表
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	52	m2			Y1G03240601 レベル4
下地処理 施工規模100m2以下 高压洗浄	52	m2			V0001 00 単第0 -0023 表
表面含浸工 亜硝酸リチウム系含浸材+ シラン系含浸材	1	構造物			Y4999 レベル4
表面含浸工 亜硝酸リチウム併用シラン系含浸材 施工規模100m2以下	1	構造物			V0003 00 単第0 -0024 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工 後付け型水切材	25	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	25	m			V0009 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
道路付属構造物塗装工					Y1G032502 レベル3
	1	式			
塗装準備工					Y4999 レベル4
	26	m			
防護柵設置工(Gr) レール設置 路側用_A・B・C種 手間のみ					SS000125 00
	26	m			単第0 -0026 表
防護柵設置工(Gr) レール撤去 路側用_A・B・C種(旧_Ap・Bp・Cp種)					SS000129 00
	26	m			単第0 -0027 表
素地調整 防護柵類					Y1G03250201 レベル4
	39	m2			
素地調整 防護柵類					SPK20040313 00
	39	m2			単第0 -0028 表
下塗 フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩					Y1G03250202 レベル4
	39	m2			
付属構造物塗替 フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類					SPK20040314 00
	39	m2			単第0 -0029 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
中塗 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色	39	m2			Y1G03250203 レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	39	m2			SPK20040314 00 単第0 -0030 表
上塗 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色	39	m2			Y1G03250204 レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	39	m2			SPK20040314 00 単第0 -0031 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 コンクリート殻	4	m3			Y1G03271601 レベル4
人力積込 コンクリート塊	0.1	m3			SPK20040008 00 単第0 -0032 表
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間無し 運搬距離5.5km以下(4.0km超)	4	m3			SPK20040146 00 単第0 -0033 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 コンクリート殻	4	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
投棄料	9	t			W0001
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y3999 レベル3
足場 吊足場	56	m2			Y1G02270202レベル4
足場工（床版補強工） 桁高1.5m以上	56	m2			S3030011 00 単第0 -0034 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔	31	m2			S3030013 00 単第0 -0035 表
防護	31	m2			Y1G02240503レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	31	m2			S3030015 00 単第0 -0036 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	26	人			R0369 00
	26	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					

施工単価表

頁0 -0013

舗装版切断

SPK20040308

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.29%

労務構成比:

54.24%

材料構成比: 39.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

558.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.25%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.63%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK20040307

単第0 -0002 表

コンクリート舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.77%

労務構成比:

81.96%

材料構成比:

8.27%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

166.23000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.77%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.27%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 F=1	コンクリート舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

頁0 -0019

コンクリート削孔(さく岩機)

SPK20040115

単第0 -0006 表

削孔深さ400mm以上600mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 5.18% 労務構成比: 89.47%

材料構成比: 5.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.30%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	1.50%		さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級		MTPC00112 MTPT00112
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	60.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.96%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0008 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.60%

労務構成比:

10.05%

材料構成比:

88.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,433.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.08%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0008 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.60%

労務構成比:

10.05%

材料構成比:

88.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,433.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト混合物 改質I型密粒度(20)	87.77%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0043 TTPT00284
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.52%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=9 改質As 密粒 I型(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(溶融式)
矢印・記号・文字_15cm換算

SDT00001

単第0 -0009 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	115.500	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合 G=1 - I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)
実線 30cm

SDT00001

単第0 -0010 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_30cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	1,186.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	52.500	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	52.500	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	74.550	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=3 実線_30cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

伸縮装置取替工

V0105

単第0 -0011 表

頁0 -0028

12 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
既設目地撤去工	12	m			単第0-0012 表
床版断面修正工	12	m			単第0-0013 表
遊間部伸縮装置設置工	12	m			単第0-0014 表
誘発目地設置工	12	m			単第0-0015 表
超速硬繊維補強モルタル 20kg/袋	7	袋			
モルタル用プライマー 900g/セット	4	セット			
ONEPIECE-GEL JOINT 主剤 + 硬化剤 1.5kg/セット	8	セット			
ONEPIECE-GEL プライマー 0.8kg/缶	1	缶			
ONEPIECE-GEL メッシュシート	14	m			
バックアップ材 50mm × 80mm × 2000mm	4	本			
ONEPIECE-GEL JOINT 誘発目地 主剤 + 硬化剤 1.5kg/セット	1	セット			
*** 合計 ***	12	m			

施工単価表

既設目地撤去工

V0100

単第0 -0012 表

頁0 -0030

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.5	人			
橋りょう特殊工	1.0	人			
普通作業員	0.5	人			
空気圧縮機	0.5	台			
エアカッター 消耗品含む	0.5	台			
ブレイカー 消耗品含む	0.5	台			
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	2.0	L			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

床版断面修正工

V0101

単第0 -0013 表

頁0 -0031

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.5	人			
橋りょう特殊工	1.0	人			
普通作業員	0.5	人			
発動発電機 100V 2KVA	0.5	台			
攪拌機	0.5	台			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.0	L			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

遊間部伸縮装置設置工

V0102

単第0 -0014 表

頁0 -0032

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.5	人			
橋りょう特殊工	1.0	人			
普通作業員	0.5	人			
発動発電機 100V 2KVA	0.5	台			
ブロアー	0.5	台			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.0	L			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

誘発目地設置工

V0103

単第0 -0015 表

頁0 -0033

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	0.25	人			
橋りょう特殊工	1.0	人			
普通作業員	0.25	人			
発動発電機 100V 2KVA	0.5	台			
ディスクグラインダー	0.5	台			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.0	L			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

とりこわし

SPK20040335

単第0 -0017 表

1
標準単価: m3 当り
80,963.00000

機械構成比: 1.93% 労務構成比: 94.93% 材料構成比: 3.14% 市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.52%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.41%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	43.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	35.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.14%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1	-(全ての費用)				

施工単価表

橋梁_排水管設置

SPK20040413

単第0 -0018 表

鋼管

1

m 当り

機械構成比: 29.61% 労務構成比: 70.39%

材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,279.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	29.61%		トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]4.9t吊		KTPC00024 KTPT00024
特殊作業員	36.59%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 鋼管					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長83.1m

V1020037

単第0 -0020 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	4.82	人			
特殊作業員	7.978	人			
普通作業員	5.9	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当	73.46	kg			
亜硝酸リチウム含有シール材	34.154	kg			単第0-0021 表
亜硝酸リチウム40%水溶液 PSL-40 相当	81.61	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	334	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			

施工単価表

付属構造物塗替

SPK20040314

単第0 -0029 表

フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

85.22%

材料構成比: 14.78%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,102.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	83.55%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_フェノール樹脂系M10塗料 中塗・上塗用,色(グレー)	14.78%		フェノール樹脂M10塗料		TTPC00068 TTPT00068
積算単価			積算単価		EP001
A=3 G=1 フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

付属構造物塗替

SPK20040314

単第0 -0030 表

長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

94.09%

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

998.15000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.25%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 中塗用,白	5.91%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 中塗用		TTPCD0173 TTPT00069
積算単価			積算単価		EP001
A=10 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

付属構造物塗替

SPK20040314

単第0 -0031 表

長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.11%

材料構成比: 5.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

997.96000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.27%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 上塗用,白	5.89%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 上塗用		TTPCD0185 TTPT00070
積算単価			積算単価		EP001
A=24 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0033 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込

DID区間無し 運搬距離5.5km以下(4.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.71% 労務構成比:

37.09% 材料構成比: 15.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,242.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)		B=1 D=25	機械積込 運搬距離5.5km以下(4.0km超)	

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 68 三原市(久井) 00-03.07.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	1	式			Y1G03040201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	23	m			SPK20040308 00
舗装版破碎 アスファルト舗装版	23	m			単第0 -0001 表 Y1G03040202 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	39	m2			SPK20040307 00
基層 再生As 粗粒(20)	39	m2			単第0 -0002 表 Y1G03040209 レベル4
	39	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	39	m2			SPK20040239 00 単第0 -0003 表
表層 再生As 密粒(20)	39	m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	39	m2			SPK20040241 00 単第0 -0004 表
底板コンクリート ck=18N/mm2	39	m2			Y1G03140404 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK20040148 00 単第0 -0005 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮装置補修工	1	式			Y3999 レベル3
目地材注入工 ポリサルファイド系シール材	10.3	m			Y4999 レベル4
目地材注入工 シーリング材充填	10.3	m			V0004 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
ひび割れ補修工					Y1G032404 レベル3
	1	式			
低圧注入工法 超微粒子セメント系 亜硝酸リチウム40%水溶液混入					Y1G03240402 レベル4
	1	構造物			
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合					S1020035 00
	1	構造物			単第0 -0008 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 ポリマーセメントモルタル 亜硝酸リチウム混入					Y1G03240501 レベル4
	1	構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む) 修復延べ体積0.642m3					S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0009 表
表面被覆工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
下地処理					Y1G03240601 レベル4
	49	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下地処理 施工規模100m2以下 高压洗浄	49	m2			V0001 00 単第0 -0010 表
表面含浸工 ケイ酸塩系含浸材	1	構造物			Y4999 レベル4
表面含浸工 ケイ酸塩系含浸材 施工規模100m2以下	1	構造物			V0003 00 単第0 -0011 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工 後付け型水切材	13	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	13	m			V0009 00 単第0 -0012 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 コンクリート殻	0.6	m3			Y1G03271601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人力積込 コンクリート塊	0.6	m3			SPK20040008 00 単第0 -0013 表
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込 DID区間無し 運搬距離11.0km以下(8.5km超)	0.6	m3			SPK20040146 00 単第0 -0014 表
殻処分 コンクリート殻	0.6	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
投棄料	1	t			W0001
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 アスファルト殻	6	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒対不要,15cm超)又(DID区間無し 運搬距離13.5km以下(10.0km超)	6	m3			SPK20040146 00 単第0 -0015 表
殻処分 アスファルト殻	6	m3			Y1G03271602レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
投棄料					W0001
	14	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			
足場 吊足場					Y1G02270202レベル4
	39	m2			
足場工（床版補強工） 桁高1.5m以上					S3030011 00
	39	m2			単第0 -0016 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔					S3030013 00
	39	m2			単第0 -0017 表
防護					Y1G02240503レベル4
	39	m2			
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	39	m2			単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	32	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	32	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

施工単価表

舗装版切断

SPK20040308

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.29%

労務構成比:

54.24%

材料構成比: 39.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

558.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.25%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.63%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK20040307

単第0 -0002 表

アスファルト舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.77%

労務構成比:

81.96%

材料構成比:

8.27%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

166.23000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.77%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.27%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

基層(車道・路肩部)

SPK20040239

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.83% 労務構成比: 11.36%

材料構成比: 86.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,323.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.17%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.19%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.16%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

基層(車道・路肩部)

SPK20040239

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.83% 労務構成比: 11.36%

材料構成比: 86.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,323.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	83.17%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.97%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0004 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.64%

労務構成比:

10.16%

材料構成比: 88.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,480.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.05%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0004 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.64%

労務構成比: 10.16%

材料構成比: 88.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,480.80000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	84.96%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.65%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.50%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK20040148

単第0 -0005 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.61%

労務構成比:

37.84%

材料構成比:

57.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

27,792.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.35%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.50%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

目地材注入工
シーリング材充填

V0004

単第0 -0006 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
シーリング材 ポリサルファイド系シーリング材	3.5	L			
目地板 瀝青繊維質目地板 t=10mm	0.05	m2			単第0-0007 表
諸雑費	3	%			#06
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

目地板
 瀝青纖維質目地板 t=10mm

SPK20040118

単第0 -0007 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 38.22% 材料構成比: 61.78% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,922.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
目地板 瀝青纖維質板 厚10mm	61.78%		瀝青纖維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 瀝青纖維質目地板 t=10mm					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0008 表

1

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当	0.419	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F 相当	3.398	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	50.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.419 D=2.48 F=50		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)

施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0014 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込

DID区間無し 運搬距離11.0km以下(8.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.12% 労務構成比:

70.66% 材料構成比: 9.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,525.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.66%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)		B=2 D=50	人力積込 運搬距離11.0km以下(8.5km超)	

施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0015 表

舗装版破碎 機械積込(騒対不要,15cm超)又(機械構成比: 47.71% 労務構成比: 37.09%

DID区間無し 運搬距離13.5km以下(10.0km超)

材料構成比: 15.20%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
2,623.50000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=54 運搬距離13.5km以下(10.0km超)		

6.1 数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	合 計	備 考
上下部工	断面修復工	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材 (亜硝酸リチウム混入)	m ³	0.018	亜硝酸リチウム混入 7.88kg/m ³
	ひび割れ補修工	ひび割れ注入工 0.2～1.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	49.70	
		ひび割れ注入工 1.0～2.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	17.30	
		ひび割れ注入工 2.0～5.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	16.10	
	表面被覆工	下地処理	高压洗浄	m ²	52.35	
		表面被覆工	1層:亜硝酸リチウム系表面含浸材+ 2層:シラン系表面含浸材	m ²	52.35	1層:0.30kg/m ² ロス率10% 2層:0.18kg/m ² ロス率10%
	水切設置工	下地処理	サンダーまたはブラシ等	m ²	0.63	
		水切設置工	後付け型水切り材	m	25.00	
ガードレール補修工	塗装塗替工	防護柵	撤去・再設置	m	26.00	
		下地処理	素地調整	m ²	39.44	
		塗装塗替工	防護柵類	m ²	39.44	
排水施設工	新設排水管設置工	とりこわし工	地覆補修	m ³	0.102	
		排水管設置	角形鋼管 (□-100x2.3x50)	m	3.78	
		断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材 (亜硝酸リチウム混入)	m ³	0.120	亜硝酸リチウム混入 7.88kg/m ³
		既設排水管埋設工	ポリマーセメント系モルタル材 (亜硝酸リチウム混入)	m ³	0.008	〃
橋面工	橋面工	As舗装カッター工	As舗装15cm以下	m	12.72	
		舗装版取壊し工	コンクリート舗装	m ²	76.32	
	伸縮装置取替工	伸縮装置取替工	埋設型伸縮装置	m	12.00	
	橋面防水工	橋面防水工	常温塗膜系防水	m ²	76.32	
		導水パイプ	スプリング管 φ12	m	36.84	
		流末処理	塩ビ管 VP25	m	4.80	
		削孔	ドリル削孔 φ38	孔	8	@L=500mm
		エポキシ樹脂充填	エポキシ樹脂	m ³	0.001	W=1.7kg
	舗装工	アスファルト舗装工		m ²	76.32	
	区画線復旧工	15cm	白色	m ²	41.40	
		30cm	白色	m ²	4.20	
仮設工	足場工	吊り足場	橋台前面足場	m	25.7	
			地覆部足場	m	30.6	
殻処分	運搬・処分	運搬	コンクリート殻	m ³	3.9	人力積込 V=0.1m ³
		処分	コンクリート殻	t	9.2	

6.2 上下部工

1. 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)

$$V = 0.008 + 0.010 = 0.018 \text{ m}^3$$

2. ひび割れ注入工

(超微粒子セメント系ひびわれ注入材+浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液)

1) 0.2~1.0mm未満

$$L = 0.80 + 48.90 = 49.70 \text{ m}$$

$$W = \begin{matrix} \text{ひび割れ幅} \\ 0.001 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ひび割れ深さ} \\ 0.200 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 49.70 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 975 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ロス率} \\ 1.5 \end{matrix} \quad (\text{注入材}) = 14.54 \text{ kg}$$

$$W = \begin{matrix} \text{シール幅} \\ 0.150 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{厚み} \\ 0.001 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 49.70 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 2000 \end{matrix} \quad (\text{シール材}) = 14.91 \text{ kg}$$

$$W = \begin{matrix} \text{ひび割れ幅} \\ 0.001 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ひび割れ深さ} \\ 0.200 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 49.70 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 1250 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ロス率} \\ 1.3 \end{matrix} \quad (\text{亜硝酸リチウム}) = 16.15 \text{ kg}$$

$$N = \begin{matrix} \text{延長} \\ 49.70 \end{matrix} / \begin{matrix} \text{間隔} \\ 0.250 \end{matrix} \quad (\text{注入器}) = 199 \text{ 本}$$

2) 1.0~2.0mm未満

$$L = 17.30 = 17.30 \text{ m}$$

$$W = \begin{matrix} \text{ひび割れ幅} \\ 0.002 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ひび割れ深さ} \\ 0.350 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 17.30 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 975 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ロス率} \\ 1.5 \end{matrix} \quad (\text{注入材}) = 17.71 \text{ kg}$$

$$W = \begin{matrix} \text{シール幅} \\ 0.150 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{厚み} \\ 0.001 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 17.30 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 2000 \end{matrix} \quad (\text{シール材}) = 5.19 \text{ kg}$$

$$W = \begin{matrix} \text{ひび割れ幅} \\ 0.002 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ひび割れ深さ} \\ 0.350 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 17.30 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 1250 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ロス率} \\ 1.3 \end{matrix} \quad (\text{亜硝酸リチウム}) = 19.68 \text{ kg}$$

$$N = \begin{matrix} \text{延長} \\ 17.30 \end{matrix} / \begin{matrix} \text{間隔} \\ 0.250 \end{matrix} \quad (\text{注入器}) = 70 \text{ 本}$$

3) 2.0~5.0mm未満

$$L = 16.10 = 16.10 \text{ m}$$

$$W = \begin{matrix} \text{ひび割れ幅} \\ 0.005 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ひび割れ深さ} \\ 0.350 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 16.10 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 975 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ロス率} \\ 1.5 \end{matrix} \quad (\text{注入材}) = 41.21 \text{ kg}$$

$$W = \begin{matrix} \text{シール幅} \\ 0.150 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{厚み} \\ 0.001 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 16.10 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 2000 \end{matrix} \quad (\text{シール材}) = 4.83 \text{ kg}$$

$$W = \begin{matrix} \text{ひび割れ幅} \\ 0.005 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ひび割れ深さ} \\ 0.350 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{延長} \\ 16.10 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{密度 (kg/m}^3\text{)} \\ 1250 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{ロス率} \\ 1.3 \end{matrix} \quad (\text{亜硝酸リチウム}) = 45.78 \text{ kg}$$

$$N = \begin{matrix} \text{延長} \\ 16.10 \end{matrix} / \begin{matrix} \text{間隔} \\ 0.250 \end{matrix} \quad (\text{注入器}) = 65 \text{ 本}$$

ひび割れ延長	49.70	+	17.30	+	16.10	=	83.10	m
注入材	14.54	+	17.71	+	41.21	=	73.46	kg
シール材	14.91	+	5.19	+	4.83	=	24.93	kg
亜硝酸リチウム	16.15	+	19.68	+	45.78	=	81.61	kg
注入器	199	+	70	+	65	=	334	本

3. 表面被覆工

1) 下地処理 (高圧洗浄)

$$A = 26.173 + 26.173 = 52.35 \text{ m}^2$$

2) 表面被覆工

(1層:亜硝酸リチウム系表面含浸材 + 2層:シラン系表面含浸材)

$$A = 52.350 = 52.35 \text{ m}^2$$

4. 水切設置工

1) 下地処理 (サンダーまたはブラシ等)

$$A = 12.500 \times 0.025 \times 2 = 0.63 \text{ m}^2$$

2) 水切設置工

(後付け型水切り材)

$$L = 12.500 \times 2 = 25.00 \text{ m}$$

6-2(1) 断面修復工計算書

工種	剥離鉄筋露出部 (上部工)		剥離 (上部工)										
	幅	長さ = 面積	幅	長さ = 面積	幅	長さ = 面積	幅	長さ = 面積	幅	長さ = 面積	幅	長さ = 面積	
断面修復工	①	0.20 × 0.40 = 0.080	1)	0.15 × 0.40 = 0.060									
	②	0.10 × 0.20 = 0.020	2)	0.15 × 0.20 = 0.030									
			3)	0.10 × 0.20 = 0.020									
			4)	0.10 × 0.15 = 0.015									
	合計(m2)	面積	0.100		0.125								
	合計(m3)	はつり工	0		0								
合計(m3)	断面修復工	0.008		0.010									

注記) PC桁部はつり厚は、 0 mとする。(PC桁へのはつりは行わない) PC桁部断面修復厚は、 0.080 mとする。

6-2(2) ひび割れ補修工計算書

工種	0.2~1.0mm未満 (地覆工)	0.2~1.0mm未満 (下部工)	1.0~2.0mm未満 (下部工)	2.0~5.0mm未満 (下部工)			
	長さ	長さ	長さ		長さ	長さ	長さ
ひび割れ補修工	<1> 0.80	<1> 0.70	[1] 3.20	[2] 3.10			
		<2> 1.50	[6] 3.00	[3] 2.30			
		<3> 1.50	[10] 6.70	[4] 2.00			
		<4> 0.40	[11] 4.40	[5] 1.70			
		<5> 1.20		[7] 0.50			
		<6> 7.00		[8] 1.60			
		<7> 1.80		[9] 2.40			
		<8> 4.20		[12] 2.50			
		<9> 5.30					
		<10> 0.30					
		<11> 0.20					
		<12> 0.40					
		<13> 0.30					
		<14> 1.00					
		<15> 0.20					
		<16> 0.70					
		<17> 1.20					
		<18> 0.50					
		<19> 0.50					
		<20> 2.00					
		<21> 2.60					
		<22> 0.60					
		<23> 0.40					
		<24> 0.40					
		<25> 1.10					
		<26> 7.00					
		<27> 1.10					
		<28> 0.40					
		<29> 1.70					
		<30> 1.20					
		<31> 1.50					
合計	0.80	48.90	17.30	16.10			

6.3 ガードレール補修工

1. 塗装塗替工

1) 素地調整

笠木

$$A = 0.50 \times (13.000 + 13.000) = 13.00 \text{ m}^2$$

ビーム

$$A = 0.85 \times (13.000 + 13.000) = 22.10 \text{ m}^2$$

支柱

$$A = 0.31 \times (7 \text{ 本} + 7 \text{ 本}) = 4.34 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 39.44 \text{ m}^2$$

2) 塗装塗替工 (防護柵類)

$$A = 39.44 = 39.44 \text{ m}^2$$

6.4 排水管取替工

1. 既設排水管理設工

(ポリマーセメント系モルタル材)

ロス率

$$V = (0.0250^2 \pi) \times 0.600 \times 6 \text{ 箇所} \times 1.18 = 0.008 \text{ m}^3$$

2. はつり工

$$V = 0.200 \times 0.170 \times 0.500 \times 6 \text{ 箇所} = 0.102 \text{ m}^3$$

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 6 \text{ (鉄筋探査)} = 1.50 \text{ m}^2$$

ガラ運搬処分

$$G = 0.102 \times 2.35 = 0.24 \text{ t}$$

3. 排水管設置工

1) 角形鋼管 (□-100x2.3x50)

$$L = 0.630 \times 6 \text{ 箇所} = 3.78 \text{ m}$$

2) 断面修復 (ポリマーセメント系モルタル材)

ロス率

$$V = 0.102 \times 1.18 = 0.120 \text{ m}^3$$

6.5 伸縮装置取替工（補修） / 橋面防水工

1. 橋面工

1) As舗装カッター工 (As舗装15cm以下)

$$L = 12.72 = 12.72 \text{ m}$$

2) 舗装版取壊し工 $t = 50 \text{ mm}$ (想定値)

舗装版取壊し面積

$$A = 76.32 = 76.32 \text{ m}^2$$

3) ガラ運搬処分

体積

$$V = 76.32 \times 0.05 = 3.82 \text{ m}^3$$

重量

$$G = 3.82 \times 2.35 = 8.98 \text{ t}$$

2. 伸縮装置取替工 (埋設型伸縮装置)

$$L = 6.00 \times 2 = 12.00 \text{ m}$$

3. 橋面防水工

1) 橋面防水工 (常温塗膜系防水)

$$A = 76.32 = 76.32 \text{ m}^2$$

2) 導水パイプ (スプリング管 $\phi 12$)

$$L = 36.84 = 36.84 \text{ m}$$

3) 流末処理 (塩ビ管 VP25)

$$L = 0.600 \times 8 = 4.80 \text{ m}$$

4) 削孔 (ドリル削孔 $\phi 38$) $L = 500 \text{ mm}$

$$N = 8 = 8 \text{ 箇所}$$

$$A = 0.170 \times 0.500 \times 8 \text{ (鉄筋探査)} = 0.68 \text{ m}^2$$

5) エポキシ樹脂充填 $L = 500 \text{ mm}$

$$N = 8 = 8 \text{ 箇所}$$

$$W = (0.019^2 \pi - 0.016^2 \pi) \times 0.500 \times 8 \text{ 箇所} = 0.001 \text{ m}^3$$

$$W = 0.001 \times \frac{\text{比重}}{1200} \times \frac{\text{ロス率}}{1.4} \text{ (注入材)} = 1.7 \text{ kg}$$

4. 舗装工

アスファルト混合物(改質アスファルト, 最大粒径20mm, t=50mm(想定値))

$$A = 76.32 = 76.32 \text{ m}^2$$

5. 区画線復旧工

1) 15cm(白色)

$$L = 15.9 + 25.5 = 41.4 \text{ m}$$

2) 30cm(白色)

$$L = 4.2 = 4.2 \text{ m}$$

6.7 足場設置工

1. 吊り足場

1) 橋台前面足場

足場設置図より

$$A = 25.7$$

$$A = 25.7 \text{ m}^2$$

2) 地覆部足場

足場設置図より

$$A = 30.6$$

$$A = 30.6 \text{ m}^2$$

数量総括表(砂田2号橋)

工事名	橋梁補修				事業区分		道路維持修繕
					工事区分		橋梁補修
工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	当初数量	摘要
橋梁補修							
	橋梁補修工						
		(上部工) ひびわれ補修工	ひびわれ注入工	幅0.2~5.0mm	m	12.4	
			注入材	無機系 w=0.35mm d=70mm	kg	0.419	
			シーラ材	比重2.0 d=1mm, w=100mm	kg	2.480	
			注入器具	@250mm	個	50	
		(上部工) 断面修復工(A)	RC床版 左官工法	t=50mm ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理有り	m3	0.591	
		(下部工) 断面修復工(A)		t=50mm ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理有り	m3	0.052	
		表面保護工			m2	49.0	
		水切工		軟質PVC	m	13.4	
		伸縮装置補修工	目地注入工	ポリサルファイド系	m	10.3	
	舗装工						
		橋面舗装打替え工	表層	再生密粒度アスコン(13) 人力舗装	m2	38.9	t=50mm
			基層	再生粗粒度アスコン(20) 人力舗装	m2	38.9	t=50mm
			コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 人力	m2	38.9	t=50mm
	構造物撤去工						
		構造物取壊し工					
			舗装切断工	15cm以下	m	23.4	
			舗装版破碎工	15cm以下	m2	38.9	
			殻運搬	As、Co	m3	5.8	
			殻処理	As、Co	t	13.6	
	補修用足場工						
		吊足場	桁高1.5m以下		m2	38.9	
		朝顔	朝顔防護足場		m2	38.9	

1 橋梁補修工

1.1 ひびわれ補修工

1) ひびわれ注入工 幅0.2~5.0mm

上部工

床版・地覆 L= 12.20+0.20

$$\begin{aligned} &= 12.4 \text{ m} \\ \text{上部工計} &= 12.4 \text{ m} \end{aligned}$$

下部工 L=

$$\begin{aligned} &= - \text{ m} \\ \text{下部工計} &= - \text{ m} \end{aligned}$$

$$\text{上部工合計} = 12.4 \text{ m}$$

$$\text{下部工合計} = - \text{ m}$$

2) 注入材 w=0.35mm、d=70mm

上部工
・無機系

$$W = (0.00035 \times 0.070 \times 12.4 \times 1200) \times 1.15 = 0.419 \text{ kg}$$

3) シール材 d=1mm, w=100mm 比重2.0

上部工

$$W = 0.10 \times 0.001 \times 12.4 \times 2000 = 2.480 \text{ kg}$$

4) 注入器具 @250mm

上部工

$$N = 12.4 / 0.25 = 50 \text{ 個}$$

1.2 断面修復工(A)

補修図より

1) RC床版

左官工法 t=50mm ホリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理有

$$V = 11.81 \times 0.05$$

$$\begin{aligned} &= 0.5905 \text{ m}^3 \\ \text{上部工合計} &= 0.5905 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

1.3 断面修復工(A)

補修図より

1) 下部工 橋台

A1,A2

$$V = 1.03 \times 0.05$$

$$\begin{aligned} &= 0.0515 \text{ m}^3 \\ \text{下部工合計} &= 0.0515 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

1.4 表面保護工

補修図より

1) 清掃・洗浄

左側地覆 A= CAD求積より

$$= 7.0 \text{ m}^2$$

床版下面 A= CAD求積より

$$= 34.7 \text{ m}^2$$

右側地覆 A= CAD求積より

$$= 7.3 \text{ m}^2$$

$$\underline{\underline{49.0 \text{ m}^2}}$$

1.5 水切工

軟質PVC

上流側 L= 6.7

$$= 6.7 \text{ m}$$

下流側 L= 6.7

$$= 6.7 \text{ m}$$

$$\underline{\underline{13.4 \text{ m}}}$$

2 舗装工

2.1 橋面舗装打替工(アスファルト舗装)

補修図より

1) 表層	人力	再生密粒度アスコン(13)	t=50mm	=	38.9 m ²
A= 38.92					
2) 基層	人力	再生粗粒度アスコン(20)	t=50mm	=	38.9 m ²
A= 38.92					
3) コンクリート	人力	σ ck=18N/mm ²	t=50mm	=	38.9 m ² 1.9 m ³
A= 38.92					

2.2 伸縮装置補修工

補修図より

1) 補修延長	L= 6.30+4.00		=	10.3 m
常温目地材(ポリサルファイド系)	比重	1.33		
	V= 0.01×0.03×10.30		=	<u>3.09 ℓ</u> 3.09 ℓ
	W= 0.01×1.33×1000		=	13.0 kg
目地材(エラストイト)	A= 0.05×10.30		=	<u>0.52 m²</u> 0.52 m ²

3 構造物撤去工

3.1 構造物取壊し工

補修図より

1) 舗装切断工	15cm以下			
L= (7.10+4.60)×2			=	23.4 m
2) 舗装破碎工	As舗装15cm以下			
A= 38.92			=	38.9 m ²
3) 殻運搬				
殻処理	V= 38.92×0.15		=	5.8 m ³
W= 5.8×2.35			=	13.6 t

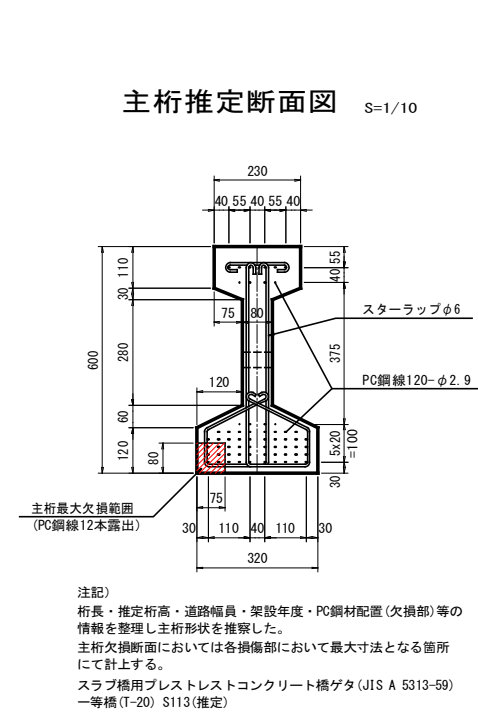
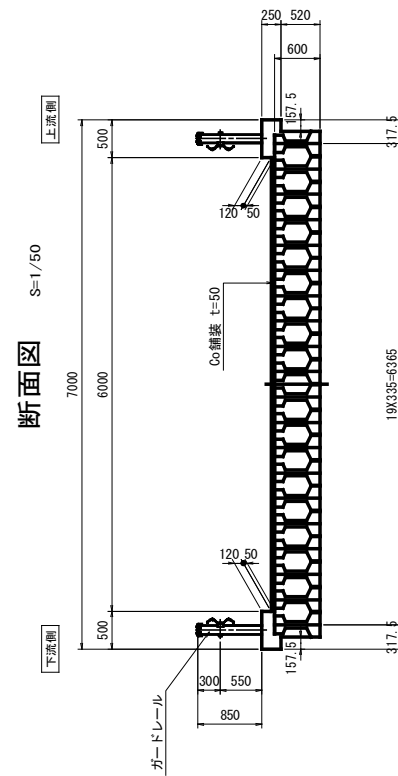
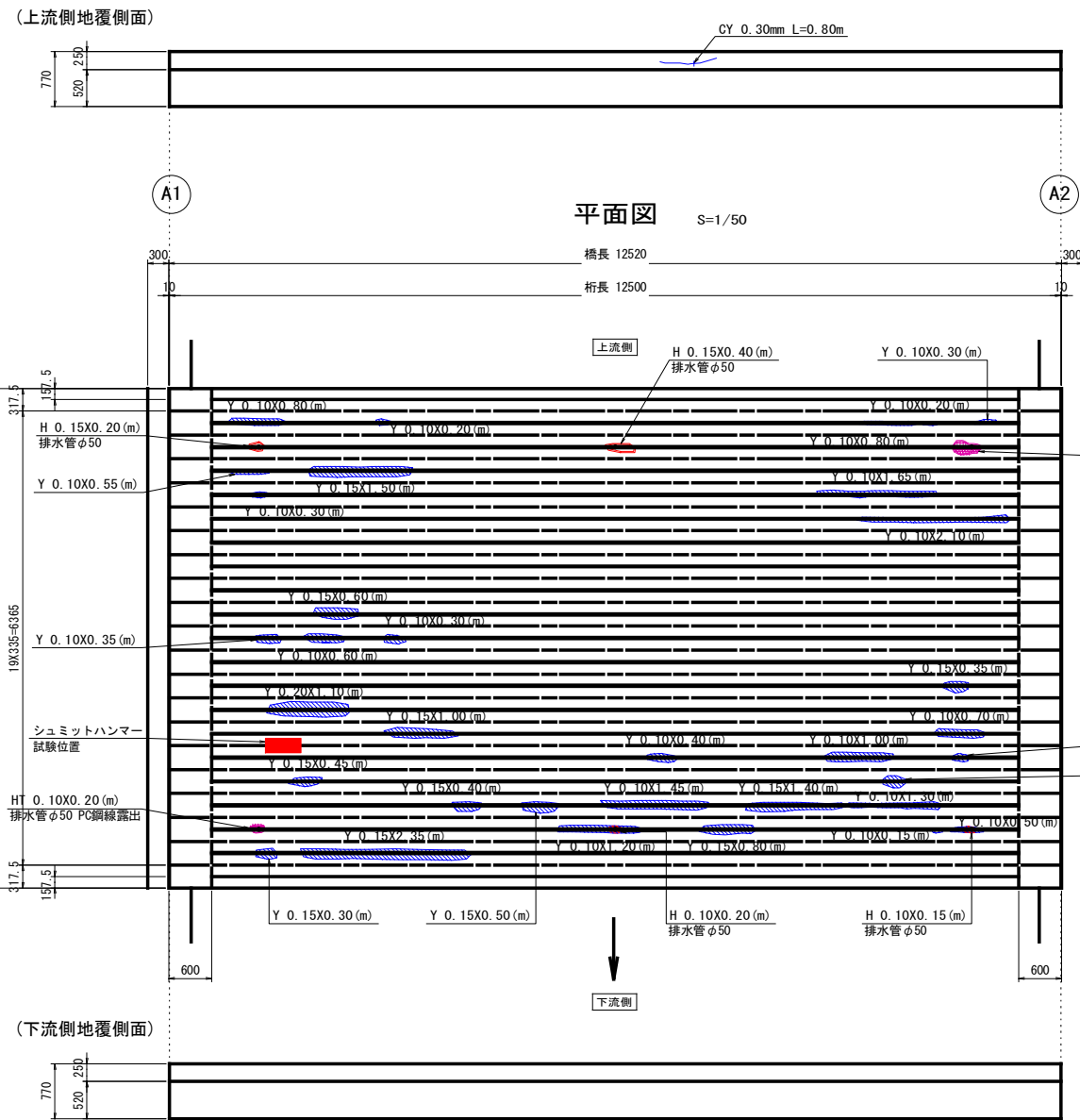
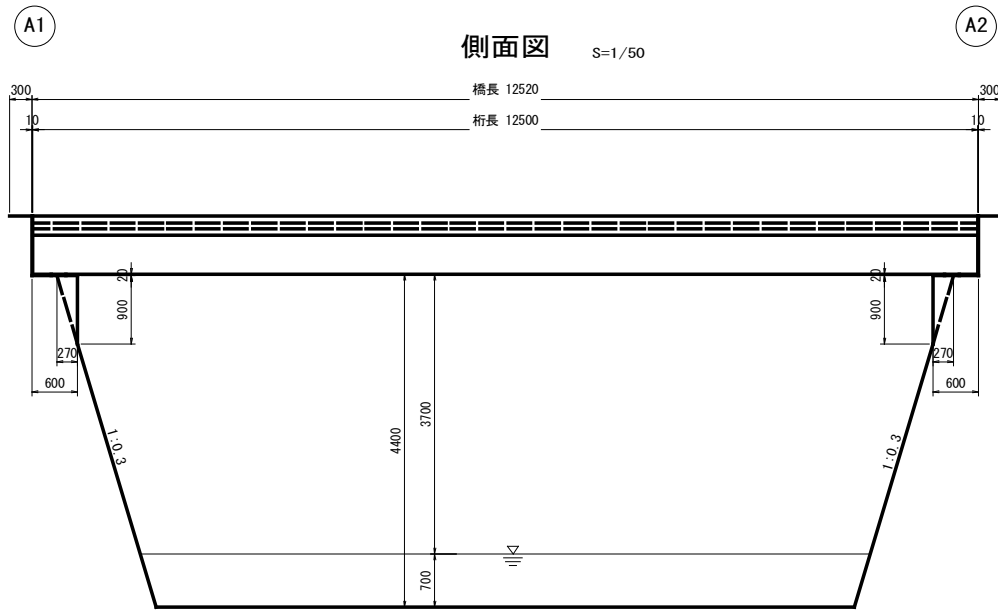
4 足場工

4.1 補修足場工

仮設参考図より

1) 吊足場	桁高さ1.5m以下			
A=			=	38.93 m ²
2) 朝顔	朝顔防護足場			
A=			=	38.93 m ²

損傷図(野間橋)(その1)



凡例

	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
	ひび割れ(1.0mm以上)
	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
	コンクリートの浮き
	コンクリートの剥離
	コンクリートの剥離・鉄筋露出
	遊離石灰又はエフロレッセンス
	漏水
	鉄筋露出
	ジャンカ

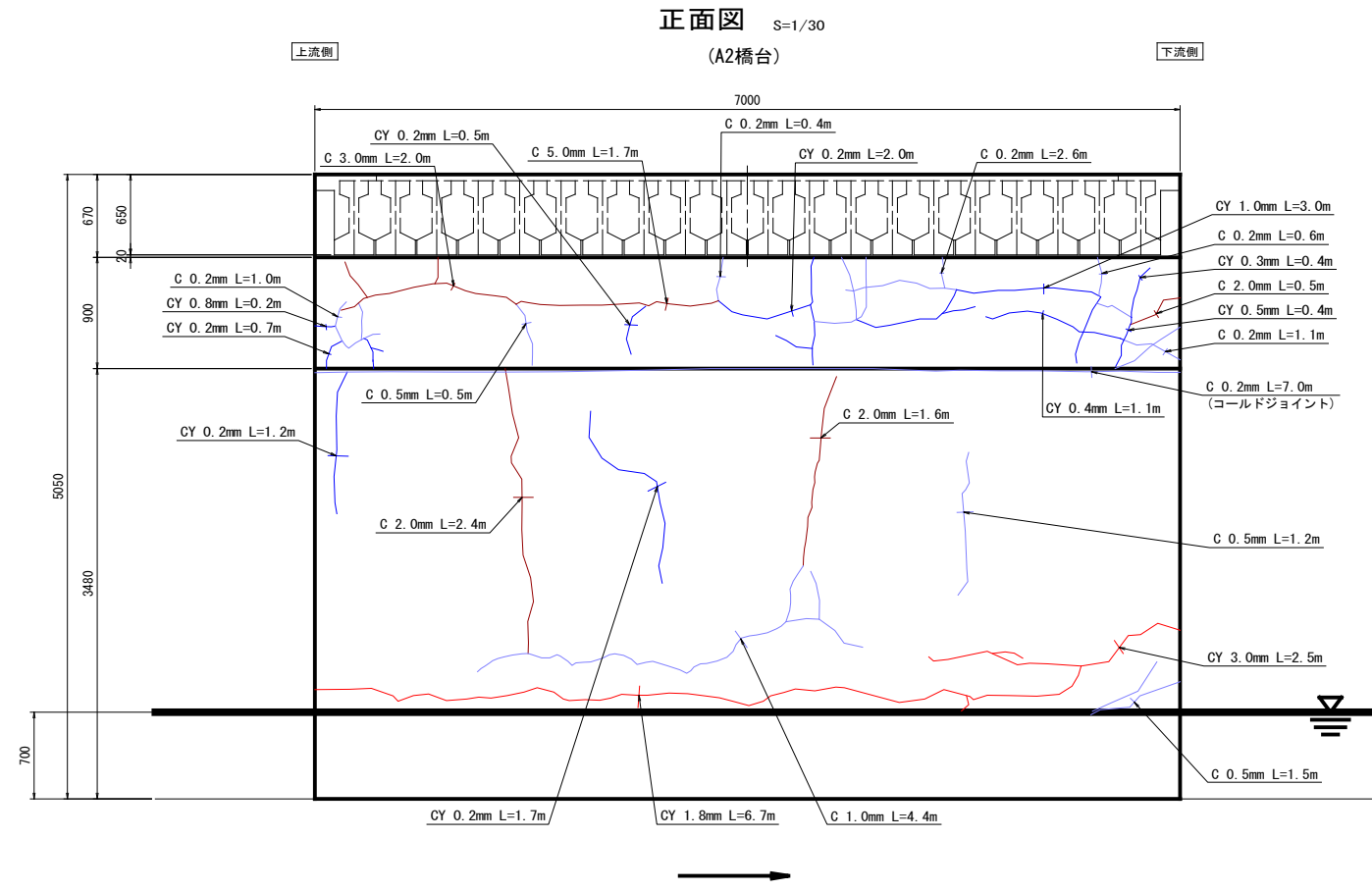
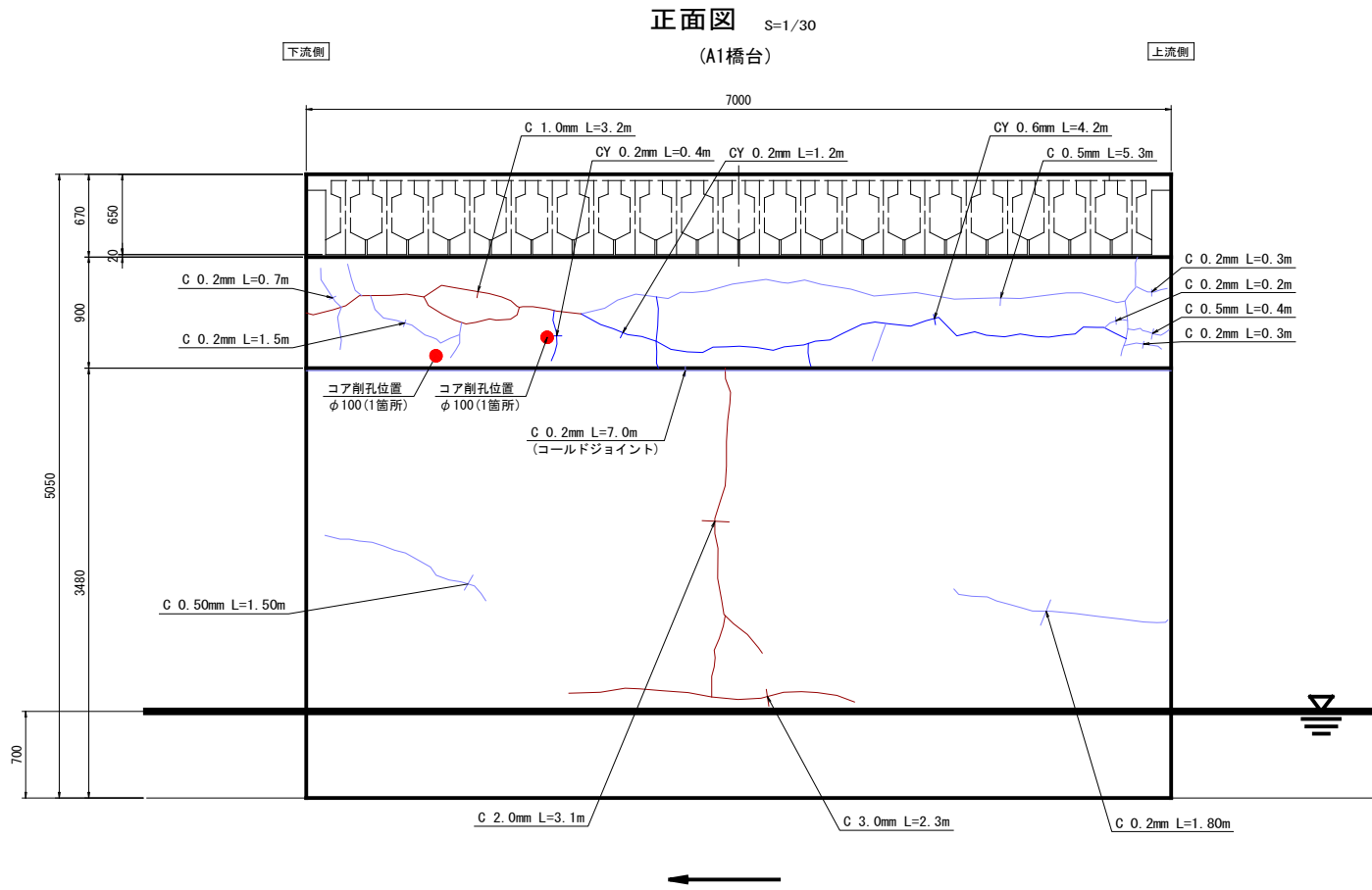
注記)
 桁長・推定桁高・道路幅員・架設年度・PC鋼材配置(欠損部)等の情報を整理し主桁形状を推察した。
 主桁欠損断面においては各損傷部において最大寸法となる箇所にて計上する。
 スラブ橋用プレストレストコンクリート橋ゲタ(JIS A 5313-59)一等橋(T-20) S113(推定)

注記)
 1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	損傷図(野間橋)(その1) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	N 1/3
橋梁名	市道久井町野間線 野間橋		
三原市			

損傷図(野間橋)(その2)

正面図 S=1/30



凡例

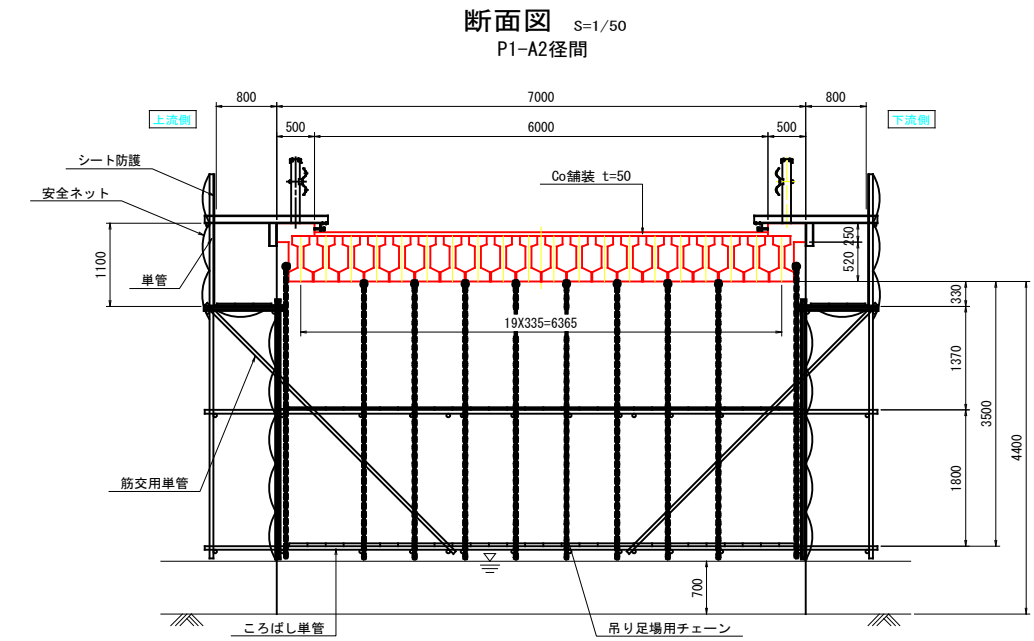
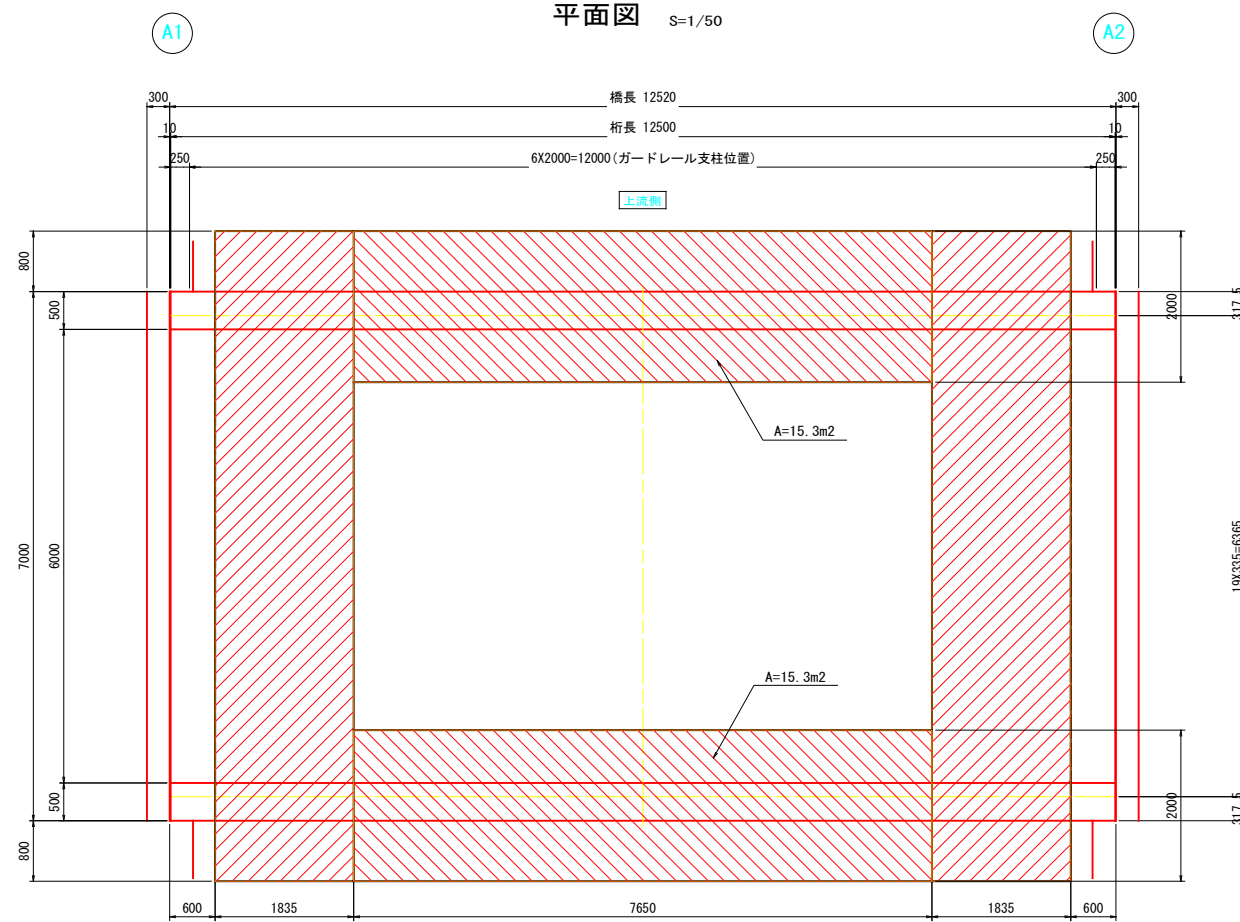
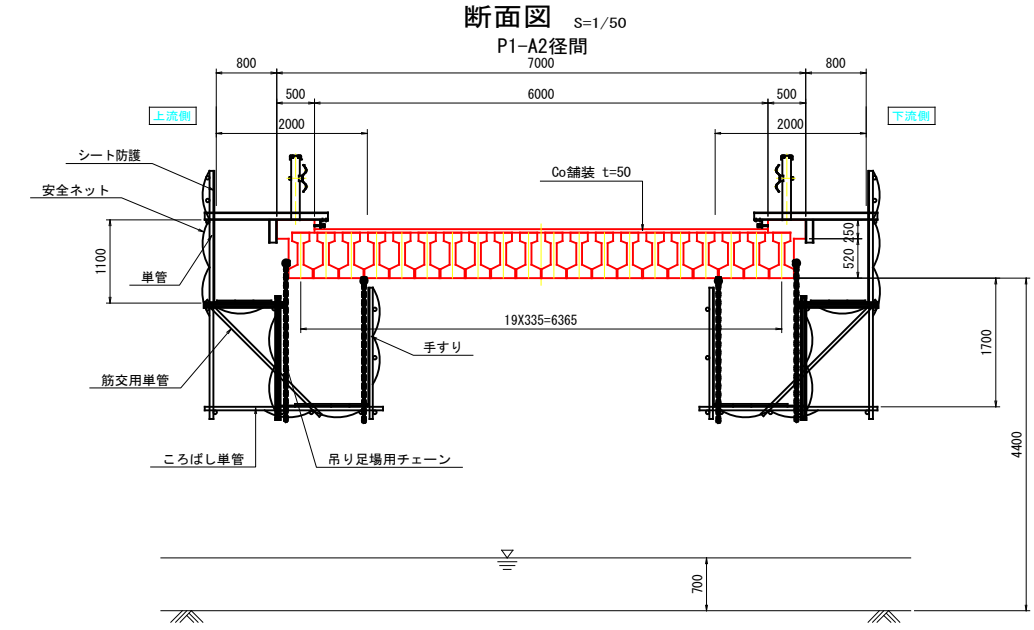
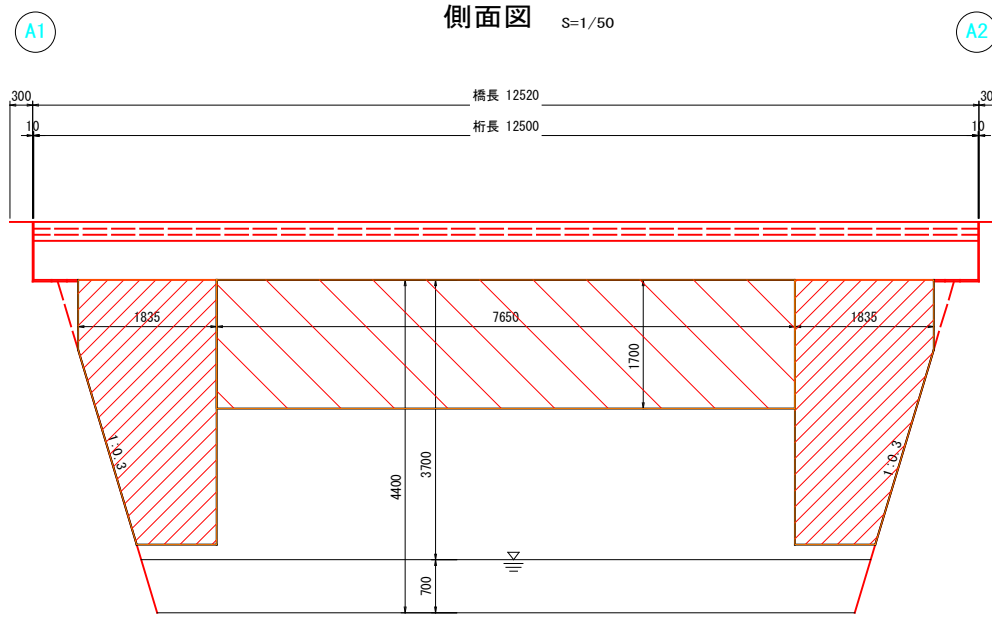
C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ

※ひび割れ(0.2mm未満)に関しては対象外とし計上しない。

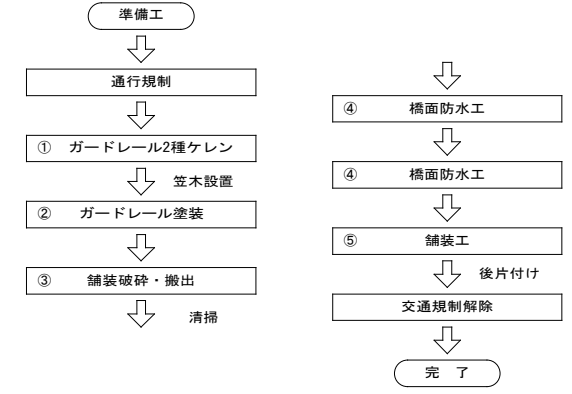
注記)
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	損傷図(野間橋)(その2) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	N 2/3
橋梁名	市道久井町野間線 野間橋		
	三原市		

補修用足場設置図(参考図)(野間橋)



交通規制フロー



注: 主桁断面修復時においてはつりを伴わないため板張防護は計画していませんが剥落等がないよう十分注意すること。
また、ガードレールケレンおよび塗装時において飛散防止のため吸塵式ケレン機器を使用する等、飛散処理を施すこと。

- 注記)
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。
 2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 濁水期に施工を施し、施工時には水位等を考慮し足場工法を再検討すること。また、アンカー打込みに関しては鋼材との取合いを確認の上、最小限となるよう配慮・検討を講ずること。

PC補修用足場 橋梁架設工事の積算

位置	式	単位	数量	備考
支間中央部	15.3x2	m2	30.6	安全ネット シート防護込み

PC補修用足場 橋梁架設工事の積算

位置	式	単位	数量	備考
橋台前面	1.835x2*7.00	m2	25.7	安全ネット シート防護込み

A(面積) = W(地覆外側まで) × L(必要長)

交通規制に関する留意点
橋面工、ガードレール、伸縮装置工を交通規制にて施工を行う。
橋梁外においても機材搬入スペースを必要とするため、一部通行止めが必要となる。
工事の際は、交通整備員を配置し、交通規制を行う必要がある。

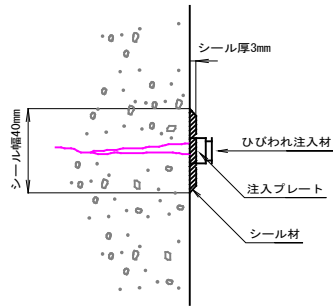
工事名	橋梁補修工事(市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修用足場設置図 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	N 3/3
橋梁名	市道久井町野間線 野間橋		
三原市			

工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	補修詳細図 (参考図)		
縮尺	S=1:50	図面番号	S 1/2
橋梁名	市道久井町鬼岩線 砂田2号橋		
三 原 市			

補修詳細図 NON-SCALE

単位 (g)	
	ケイ酸塩系含浸材 (ROGインナーシール同等品)
標準塗布量	220
※1㎡あたりの標準塗布量	

ひびわれ注入工 (微粒子ポリマーセメント)



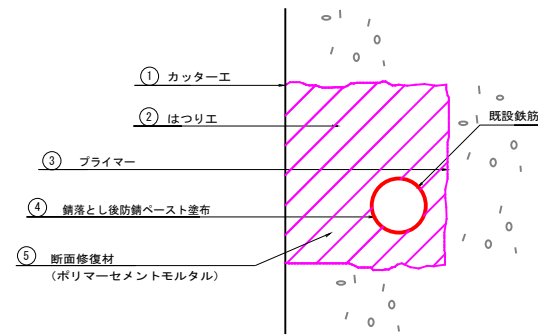
※ 施工手順

- 1 表面処理 (水洗い清掃)
- 2 注入プレート貼付
- 3 シール材塗布
- 4 注 入
- 5 養 生
- 6 仕 上 げ

注記)

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のもとする。
3. ひびわれ注入深さは、上部工50mm、下部工100mmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
4. 注入パイプの間隔は、25cm程度とする。
5. 注入材は微粒子ポリマーセメントを使用する。
6. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

断面修復工(A)：鉄筋コンクリート構造 (ポリマーセメントモルタル)



※ 施工手順

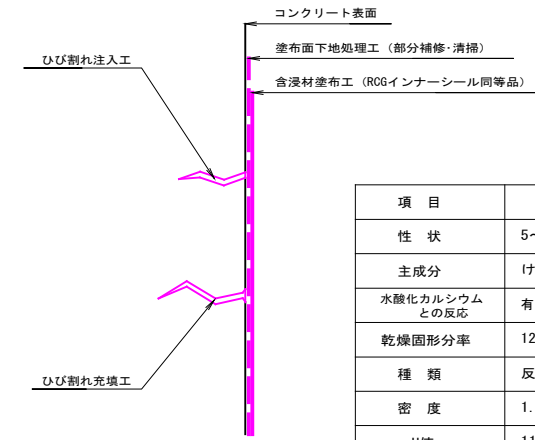
- 1 カッター切断
- 2 コンクリートはつり
- 3 プライマー塗布
- 4 錆落とし後防錆ペースト塗布
- 5 ポリマーセメントモルタル埋戻し

注記)

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。
2. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。(はつり深さは、上部工50mmを想定。)
3. 使用材料
断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

力学的性能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること (圧縮強度：30N/mm ² 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm ² 以上 建研式)

コンクリート 表面保護工 (反応型ケイ酸塩系表面含浸材)



項目	目 標 値
性 状	5~150nmのポリシリケートおよび粒子コロイド
主成分	けい酸ナトリウム・けい酸カリウム
水酸化カルシウムとの反応	有
乾燥固形分率	12%以上
種 類	反応型けい酸塩系表面含浸材
密 度	1.05以上
pH値	11.0以上
色	無色

※ 施工手順

- 1 作業範囲設定 (安全を確認するため、作業範囲の確認)
- 2 下地補修 (大きい破損やクラック等はモルタル等での部分補修)
- 3 養生 (飛散防止のため養生、ブルーシート・養生シート等)
- 4 清掃 (低圧・高圧洗浄機や金ブラシ等で、塗布面の汚れを除去清掃)
- 5 ケイ酸塩系表面含浸材塗布 (標準塗布量220g/㎡を噴霧機やローラー、刷毛などを利用し均等に塗布)
- 6 湿潤養生 (手で触って多少べとつく程度の湿潤養生を行う (90分程度))
(この間、乾燥が激しい場合は必要に応じて散水する)
- 7 養生材撤去 (撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄)
- 8 場内片付 (全工程終了後、監督員・係員に完了検査を受ける)

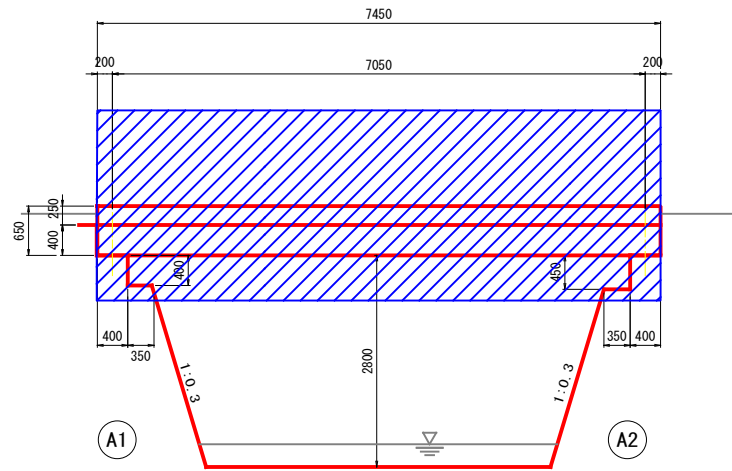
注記)

1. 中性化及び雨水等の影響を受けないコンクリートの場合、塗布後に炭酸カルシウムが表層部に発生することがあるので、洗浄を行う。
2. 含浸材がガラス等に付着すると除去が困難なため、飛散防止を対策する。
3. 湿潤養生は含浸材塗布後半乾燥状態時に湿潤養生し、90分以上養生する。
4. 含浸材塗布量の管理は厳密に行う。
事前に図面等で材料の塗布量を確認し、現場においてマーキング等を行い管理する。
5. 塗布作業は、基本的に水下から行う。
6. 本材料はコロイドのため凝集するので、利用前には攪拌する。
7. 下地洗浄時には、酸性の薬剤等は利用しない。(中和反応するため)

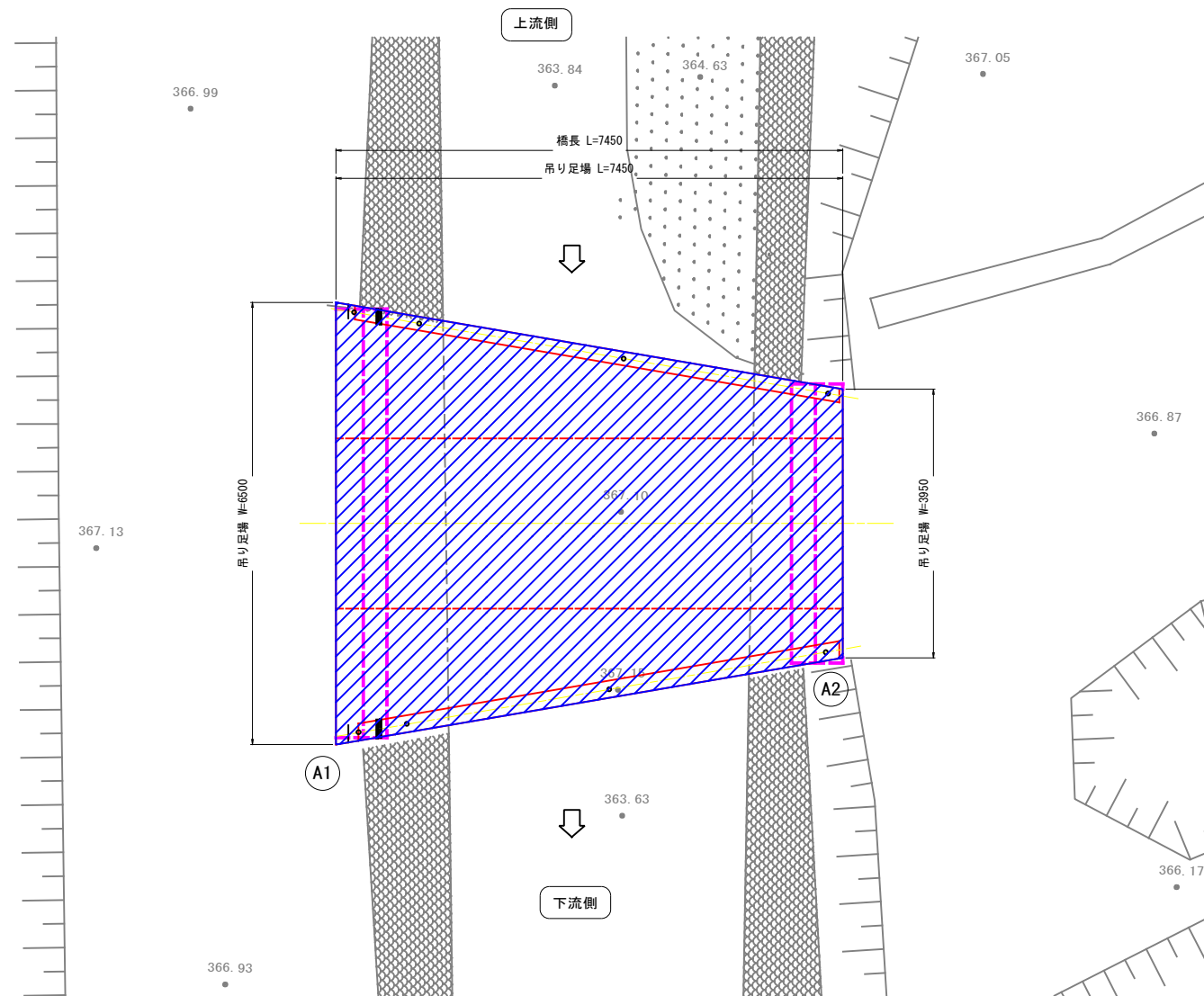
工事名	橋梁補修工事 (市道久井町野間線野間橋外1橋)		
図面名	仮設足場図(参考図) (参考図)		
縮尺	S=1:50	図面番号	S 2/2
橋梁名	市道久井町鬼岩線 砂田2号橋		
三 原 市			

仮設足場図(参考図)

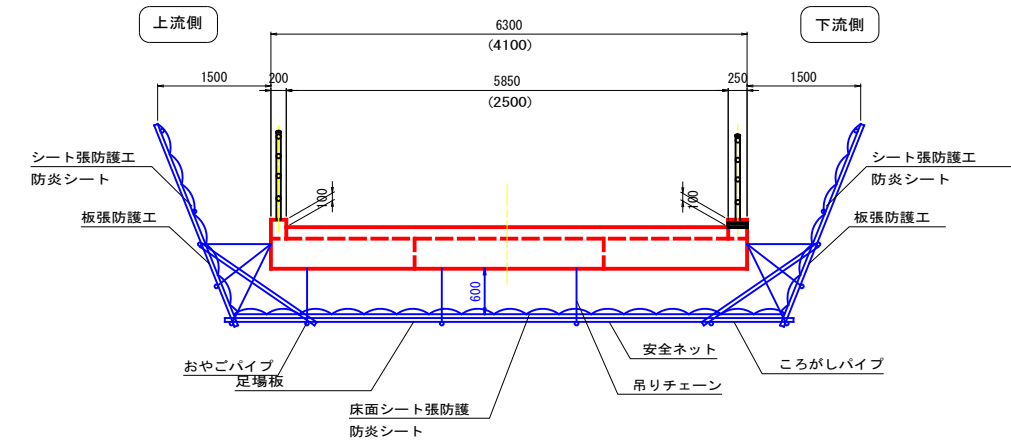
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



標準断面図 S=1:50



※形状寸法における()はA2側支点部の値を表わす。

仮設足場数量表

種類	寸法 (m)		面積 (m ²)
	全幅員(地覆外縁間距離) × 橋長又は必要長		
TYPEA1	吊り足場 (桁高h<1.5m)	(6.50+3.95)/2 × 7.45	38.93
TYPEB	床面シート張防護設置	"	38.93
	朝顔	"	38.93
	板張防護工	"	38.93
	シート張防護工	"	38.93

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

位置図

